

# 宮沢俊義著作目録

松田 義男 編

改訂 2019年7月17日

2005年7月23日

## 目次

凡例

付記

1. 著書
2. 共著
3. 編・監修
4. 辞典類
5. 憲法問題調査会・帝国議会貴族院・国会衆議院委員会等における発言等
6. 大学講義録
7. 高等学校教科書
8. 論文等(新聞・雑誌掲載)

## 凡例

- \* 「1. 著書」(訳書含む)、「2.共著」(編著・共訳を含む。編・監修のみは含まない)、「3. 編・監修」(資料集・法令などの編集・校訂)、「4. 辞典類」、「5. 憲法問題調査会・帝国議会貴族院・国会衆議院委員会等における発言等」、「6. 講義録筆記」、「7. 高等学校教科書」、「8. 論文等(新聞・雑誌掲載)」に分類し、それぞれを年次順に配列した。
- \* 図書の再版・増補版は、原則として、初版に一括して[ ]に注記した。叢書名と巻書名がある場合、巻書名を表題として採用し、叢書名を< >に示した。編著・共著・共訳・監修の別については、[ ]に示した。収録評論について、目次中の表題と本文表題とが異なる場合、原則として本文表題を採用した。
- \* 掲載雑誌の巻号数は、第1巻第1号→1-1と表記し、日刊新聞の号数は省略した。なお、第二次大戦後の『婦人公論』には、巻次の乱れがあるが、本著作目録では日本近代文学館の巻号表示により1946年を30巻、以後各年を1巻、1954年を38・39巻とし、1955年を40巻、以後各年を1巻とした。
- \* 新聞・雑誌の連載は、初回掲載に一括した。連載評論のうち各回で副題が異なる場合、副題を【 】に示した。
- \* 雑誌目次中の表題と本文表題とが異なる場合、原則として本文表題を採用した。
- \* 新聞・雑誌の特集名・掲載欄を適宜[ ]で示したほか、無題の場合は[ ]に示して仮題とした。
- \* 新聞の朝刊・夕刊については、夕刊についてのみ[夕刊]と注記した。
- \* 編者未見の著作については、表題冒頭に\*を付した。
- \* その他、編者の注記は適宜[ ]で示した。

本著作目録の作成に際しては、高見勝利編「宮沢俊義著作一覧」(『宮沢俊義の憲法学的研究』有斐閣、2000年)を参照したほか、国立国会図書館、法務図書館、市政専門図書館、日本近代文学館、日本近代音楽館、国立教育政策研究所教育研究情報センター教育図書館、早稲田大学中央図書館・同法律文献情報センター、立教大学図書館(宮沢文庫)、東京大学総合図書館・同大学院教育学研究科教育学部図書室、文教大学越谷図書館、岡山県立図書館、久留米大学附属図書館より文献閲覧・複写の便宜を頂きました。付記して謝意を表します。

## 付記

高見勝利編「宮沢俊義著作一覧」に採録されている下記の著作は、本目録では削除した。

- ①「基本的人権」『社会主義講座第5巻』（三元社、1948年）は誤記と思われる。同書に宮沢の執筆はない。「選挙制度」『社会主義講座 第7巻』（三元社、1948年）と「基本的人権」『社会科学講座 第5巻』（弘文堂、1951年）とが混在したものであろう。
- ②『近代公法の原理』（弘文館、1950年）は、刊行が確認できない。
- ③「憲法は政治の子」（『朝日ジャーナル』1965年1月16日）と「(対談)先進後進(小林直樹)」（『朝日ジャーナル』1965年1月24日）は、対談シリーズ「先進後進」での宮沢俊義・小林直樹との対談「憲法は政治の子」（『朝日ジャーナル』7-4、1965年1月24日）の重複・誤記である。
- ④「機械工業振興臨時措置法の改正」（『財経詳報』383、1961年5月29日）は、同姓の宮沢鉄蔵（通商産業省重工業局重工業課長）の執筆である。
- ⑤「人物スケッチー奥野信太郎」（『日本読書新聞』1957年7月15日）は、宮沢の執筆ではなく、奥野信太郎執筆による人物スケッチ（奥野信太郎「人物スケッチー宮沢俊義」）である。
- ⑥「宮沢氏、論理で押す、依然変らぬ『金森解釈』（『朝日新聞』1946年8月27日）は、「議会記者席」掲載の議会傍聴記事であり、本目録では著作とみなさない。
- ⑦『法律年鑑』の「法学界の回顧と展望」のうち、「公法・政治学」『法律年鑑 昭和十三年版』（日本評論社、1938年）の執筆者は戒能通孝である。同書「あとがき」（p.28）によると「概観」を末弘巖太郎が執筆、その他はすべて戒能通孝が一人で執筆している。また、「公法」『法律年鑑 昭和十二年版』（日本評論社、1937年）は無署名である。本目録では、宮沢俊義の署名のあるもののみ採録した。
- ⑧「宮沢俊義氏ーこのほど解散した憲法問題研究会の長老」（『法学セミナー』256、1976年7月1日）は、インタビュー記事であり、本目録では著作とみなさない。
- ⑨清宮四郎「権力分立制の研究」〔紹介〕『公法研究』3、1950年10月30日〔『憲法論集』収録〕は、1950年と1951年に採録されている。1951年は誤記である。

## 1. 著書

- 『法の精神』[訳書：モンテスキュー著]上・下巻<岩波文庫>岩波書店 1928年1月10日、1930年3月5日[1948年]
- 『憲法大意』<社会教育講習会講義録 第10巻>義済会、1928年3月31日[第2章憲法(二)立憲主義を『新しい憲法のはなし 付載七篇』収録]
- 『選挙法要理』一元社、1930年7月15日[「衆議院議員選挙法」(『現代法学全集 第15巻』日本評論社、1929年)を加筆して刊行]
- 『憲法 上巻』[昭和九年度東京帝国大学講義]啓明社、1933年8月26日
- 『憲法』啓明社、1934年2月 [1934年度東京帝国大学講義、謄写版]
- \* 『成人教育講座 第二輯 議会制の過去現在及将来』文部省、1934年[高見編「宮沢俊義著作一覧」記載]
- \* 『憲法講義案』宮沢俊義、1934年[高見編「宮沢俊義著作一覧」記載]
- 『憲法講義案』<5分冊>宮沢俊義、1935年?月?日、5月25日、6月22日、9月16日、9月29日
- 『憲法 昭和十年度東京帝国大学法学部講義』啓明社、1935年9月12日
- 『憲法講義案』宮沢俊義、1936年4月17日
- 『行政法総論講義案』[4分冊]宮沢俊義、1936年5月20日、6月26日、10月16日、1937年2月13日
- 『モンテスキュー法の精神』<大思想文庫 13>岩波書店、1936年10月11日[『憲法の思想』収録]
- 『転回期の政治』中央公論社、1936年12月20日[復刊『転回期の政治』<岩波文庫>(岩波書店、2017年)]時論集]
- 『銀杏の並木』相模書房、1937年7月31日[隨筆集]
- 『憲法講義案』[3分冊]宮沢俊義、1938年5月4日、6月13日、8月26日
- 『聯邦制度概説』中華民国法制研究会(発行者)、中央大学(発行所)、1939年8月15日
- 『憲法講義案』宮沢俊義、1941年4月26日
- 『憲法略説』岩波書店、1942年4月30日
- 『枢密院に於ける議員法案の審議について』[1942年4月20日憲政史研究会第十三回例会講演速記(於華族会館)]憲政史研究会、1942年4月<国立国会図書館憲政資料室所蔵「大木操関係文書」153>
- 『自治行政講義要綱』東京市吏員錬成所、[1942年]
- 『東と西』<春秋社教養叢書>春秋社松柏館、1943年3月20日[隨筆集]
- 『固有事務と委任事務の理論』<公法叢書 1>有斐閣、1943年8月18日[『公法の原理』収録]
- 『仏印の統治体制』<臨時南方調査室資料 第13輯>東亜研究所、1944年1月15日
- 『日本における民主主義 民主主義は日本でどのやうに発達して來たか』<公民教養叢書 第2輯>[大日本教育会編]印刷局、1946年3月1日
- 『憲法改正と民主政治』<大学解放講座叢書>帝国大学新聞社、1946年5月25日[『憲法論集』収録、同書から『新しい憲法のはなし 付載七篇』抄録]
- 『アメリカの憲法』<国民大学文庫>政治教育協会、1946年11月20日[再刊：国土社、1949年]

- 『日本に於ける民主主義』日本青年館、1947年5月10日
- 『あたらしい憲法のはなし』朝日新聞社、1947年6月15日[『新しい憲法のはなし 付載七篇』収録]
- 『銀杏の窓』広文館、1948年1月20日[随筆集]
- 『新憲法と国会』<新憲法大系>国立書院、1948年3月20日
- 『民主制の本質的性格』勁草書房、1948年10月30日[論集]
- 『憲法大意』<有斐閣全書>有斐閣、1949年5月10日[第1章第5節55頁を「平和国家」と題して『戦争の放棄』<文献選集日本国憲法3>(三省堂、1977年)収録]
- 『憲法入門』<法学普及講座>勁草書房、1950年6月15日[<勁草文庫>1951年5月1日。改訂版：1954年4月5日。新版：『新版憲法入門』1973年12月1日。深瀬忠一補訂版：『新版補訂 憲法入門』1993年]
- 『憲法』<有斐閣全書>有斐閣、1949年5月25日[『憲法大意』第2刷を『憲法』と改題。改訂初版：1952年4月20日。改訂再版：1967年1月20日。改訂3版：1969年10月15日。改訂4版：1972年4月10日。5版改訂：1973年10月30日]
- 『右往左往』<随筆選集>勁草書房、1951年8月1日[随筆集]
- 『憲法』<「法学」叢書2>勁草書房、1951年10月5日[『憲法』『法学』(勁草書房、1950年)を分冊化して刊。改訂版：1955年]
- 『国際憲法 憲法の国際化』[Boris Mirkine-Guetzevitch, *Droit constitutionnel international*の邦訳。共訳：小田滋]<岩波現代叢書>岩波書店、1952年8月15日
- 『番茶クラブ』日本放送協会編、要書房、1953年8月31日[共著：緒方富雄、奥野信太郎、水野成夫、宮沢俊義による放送座談集]
- 『イタリヤ共和国憲法』[訳]<憲法正文シリーズ 第1>有斐閣、1954年6月20日
- 『わたくしたちの憲法』[共著：国分一太郎]有斐閣、1955年5月20日[新装改訂版：1983年。新書版：<有斐閣新書>1987年][秋山ちえ子編『少年少女教養全集 1 思想篇』(宝文館、1961年)収録]
- \*『憲法』[I・II] 法政大学通信教育部、1956年5月
- 『神々の復活』<読売新書>読売新聞社、1955年6月15日[随筆集]
- 『日本国憲法』<法律学体系コンメンタール篇>日本評論新社、1955年9月30日[芦部信喜補訂『全訂日本国憲法』日本評論社、1978年9月4日]
- 『日本国憲法 別冊付録』<法律学体系コンメンタール篇>日本評論新社、1955年9月30日[「日本国憲法生誕の法理」と「文民誕生の由来」を収録。「日本国憲法生誕の法理」は、有倉遼吉・吉田善明編『憲法の基本原理』<文献選集日本国憲法1>(三省堂、1977年)、『憲法の原理』、『新しい憲法のはなし 付載七篇』収録]
- Japan's constitutional problems and her political chart*, Public Information and Cultural Affairs Bureau, Ministry of Foreign Affairs, 1956
- 『国民主権と天皇制』<法学選集3>勁草書房、1957年7月5日[論集]
- 『憲法 II』<法律学全集4>有斐閣、1959年4月30日[新版：1971年12月5日。新版再版(改訂)：1974年1月30日]
- 『各国憲法のはなし』<文化新書>有信堂、1962年6月5日

- 『憲法講話』＜岩波新書＞岩波書店、1967年4月20日[論集]
- 『憲法と裁判』有斐閣、1967年7月20日[論集]
- 『公法の原理』有斐閣、1967年10月20日[論集]
- 『憲法の原理』岩波書店、1967年11月30日[論集]
- 『憲法思想』岩波書店、1967年11月30日[論集]
- 『法律学における学説』有斐閣、1968年1月30日[論集]
- 『憲法と政治制度』岩波書店、1968年1月16日[論集]
- 『日本憲政史の研究』岩波書店、1968年2月15日[論集]
- 『憲法と天皇－憲法二十年 上－』＜UP選書＞東京大学出版会、1969年3月25日[論集]
- 『平和と人権－憲法二十年 中－』＜UP選書＞東京大学出版会、1969年3月25日[論集]
- 『政治と憲法－憲法二十年 下－』＜UP選書＞東京大学出版会、1969年3月25日[論集]
- 『天皇機関説事件 史料は語る。』[上・下]有斐閣、1970年5月15日
- \*『憲法学指導書』法政大学通信教育部、1970年[高見編「宮沢俊義著作一覽」記載]
- 『宮沢俊義随筆集』学生社、1977年8月20日[随筆集]
- 『憲法論集』有斐閣、1978年4月30日[論集]
- Verfassungsrecht = (Kempo), von Miyazawa Toshiyoshi ; übersetzt, bearbeitet und herausgegeben von Robert Heuser und Yamasaki Kazuaki, Koln : C. Heymann, 1986[『憲法大意』ドイツ語訳]
- 『新しい憲法のはなし 付載七篇』＜叢書 風にそよぐ葦1＞三陸書房、2016年6月18日[『新しい憲法のはなし』(朝日新聞社、1947年)と既発表論文7篇を収録]

## 2. 共著＜編著含む＞

- 憲法講話『綜合文化大系』玉文社編集部編、玉文社、1928年2月3日
- モンテスキュー『岩波講座 世界思潮 第五冊』岩波書店、1928年7月31日
- 衆議院議員選挙法『現代法学全集 第15巻』日本評論社、1929年6月10日[のち、『選挙法要理』(一元社、1930年)と題して刊]
- \*フランスの家庭投票制について『現代法学月報』＜『現代法学全集 月報』？＞1929年7月10日[『選挙法要理』付録に収録]
- 公法学に於ける諸傾向『フランスの社会科学』フランス学会編、刀江書院、1930年2月10日[「フランス公法学に於ける諸傾向」と改題、『公法の原理』収録]
- 憲法及行政法[第11回内閣統計講習会講演速記]『内閣統計講習会講演録』帝国地方行政学会、1930年3月30日
- 法の義務づけよう Leges mere poenales の理論について『法学協会五十周年記念論文集 第1部』法学協会、1933年4月20日[『法律学における学説』収録]
- 憲法及行政法[第14回内閣統計講習会(於中央大学)講演速記]『内閣統計講習会講演録』帝国地方行政学会、1933年5月30日

- 独逸憲法の独裁化『刑事政策上より観たる刑罰制度の矛盾点 独逸憲法の独裁化』東京中央講演会、1934年2月1日
- 憲法論『議会政治読本』<『中央公論』49・2別冊付録>中央公論社、1934年2月1日
- 法律による裁判『算教授還暦祝賀論文集』杉村章三郎編、有斐閣、1934年4月17日[『憲法と裁判』収録]
- 国民代表の概念『公法学の諸問題 美濃部教授還暦記念 第2巻』[編著]有斐閣、1934年12月25日[『憲法の原理』、鶴飼信成編『憲法行政法論集』(河出書房新社、1960年)、小林孝輔編『法と政治』<法学文献選集 6>(学陽書房、1972年)、『国民主権と天皇制』<文献選集日本国憲法2>(三省堂、1977年)収録]
- 美濃部教授著書・論文目録[編]『公法学の諸問題 美濃部教授還暦記念 第2巻』[編著]有斐閣、1934年12月25日
- 公法[「学界—昭和九年法学界の回顧と展望—」]『法律年鑑 昭和十年版』<『法律時報』臨時増刊>日本評論社、1935年6月10日
- 『中華民国憲法草案』[共著：田中二郎]中華民国法制研究会(発行者)、中央大学(発行所)、1935年6月10日
- 皇室法『新法学全集 第1巻』日本評論社、1936年6月3日[『新法学全集 第2巻』日本評論社、1940年5月]
- 行政訴訟法『新法学全集 第3巻 行政法 2』日本評論社、1936年8月1日[『新法学全集 第5巻』日本評論社、1940年]
- 公法[「学界—昭和十年法学界の回顧と展望—」]『法律年鑑 昭和十一年版』日本評論社、1936年8月11日
- 『中華民国憲法確定草案』[共著：田中二郎]中華民国法制研究会(発行者)、中央大学(発行所)、1936年10月30日
- 貴族院議員選挙法雑題『国家学論集 国家学会五十周年記念』蠟山政道編、有斐閣、1937年7月19日[『日本憲政史の研究』収録]
- 学生と社会『現代学生論』三木清編、矢の倉書店、1937年9月24日[復刻：『近代日本青年期教育叢書 第1期 青年期教育論 第4巻』(日本図書センター、1990年)、『銀杏の窓』収録]
- 婦人と政治『婚姻』<家族制度全集 第1部史論篇第1巻>河出書房、1937年10月13日[『憲法と政治制度』収録]
- 『立憲主義と三民主義・五権憲法の原理』[共著：田中二郎]中華民国法制研究会(発行者)、中央大学(発行所)、1937年12月30日[序説、第1章 泰西的議会制の特色、第2章 泰西的権威性の特色を「立憲主義の原理」と題して『憲法の原理』収録]
- 法および法学と政治『法理論集 牧野教授還暦祝賀』小野清一郎編、有斐閣、1938年3月20日[『公法の原理』収録]
- 国民健康保険法／国家総動員法／昭和一年勅令第二一号廃止法律(東京陸軍軍法会議ニ関スル件)／兵役ノ義務ナカリシ者等ニシテ支那事変ニ於テ陸軍部隊ニ編入セラレタルモノノ身分取扱ニ関スル法律／支那事変ニ際シ召集中ノ者ノ選挙権及被選挙権等ニ関スル法律／兵役法中改正法律『第七十三帝國議會 新法律の解説』法学協会、1938年9月1日
- フランスの判例法における統治行為『公法政治論集 野村教授還暦祝賀』刑部莊編、有斐閣、1938年9月30日[『憲法と裁判』収録]

- 行政裁判と統治作用『憲法及行政法の諸問題 佐佐木博士還暦記念』田村徳治編、有斐閣、1938年10月25日[『憲法と裁判』収録]
- 現代政治体制の生成『文化講義 第二輯』<講演叢書 第9篇>渡辺翁記念文化協会、1938年
- 支那憲法制定史要『アジア問題講座 第二卷—政治軍事篇(二)—』創元社、1939年1月15日
- 軍馬資源保護法／種馬統制法／競馬法ノ臨時特例ニ関スル法律／映画法／国境取締法／軍用資源秘密保護法『第七十四帝国議会新法律の解説』法学協会、1939年6月25日
- 五権憲法の原理『アジア問題講座 第三卷—政治軍事篇(三)—』創元社、1939年8月8日
- 三民主義について『法及政治の諸問題 佐藤教授退職記念』有斐閣、1939年11月15日[『憲法の思想』収録]
- 公法・政治学[「学界—昭和十三年法学界の回顧と展望—」]『法律年鑑 昭和十四年版』日本評論社、1939年11月24日
- 戦争と法律[7月19日講演]『戦時文化経済講演集』安田貯蓄銀行、1940年10月20日
- 公法・政治学[「学界—昭和十四年法学界の回顧と展望—」]『法律年鑑 昭和十五年版』日本評論社、1940年12月20日
- ドイツ行政法[訳：ヨハネス・ヴァイデマン著]『新独逸国家大系 第8巻』日本評論社、1941年2月28日
- 一高に入った頃『柏影回顧』氷室吉平編・刊、1941年8月5日
- 公法・政治学[「学界—昭和十五年法学界の回顧と展望—」]『法律年鑑 昭和十六年版』日本評論社、1941年12月20日
- 防空法中改正法律『第七十七帝国議会新法律の解説』法学協会、1941年12月30日
- 言論、出版、集合、結社等臨時取締法『第七十八帝国議会新法律の解説』法学協会、1942年3月30日
- 典憲五十年『東京帝国大学学術大観 法学部経済学部』東京帝国大学、1942年5月20日
- フランス法における違法の抗弁 フランス型権力分立主義の特色『杉山教授還暦祝賀論文集』福井勇二郎編、岩波書店、1942年11月4日[『憲法と裁判』収録]
- 公法・政治学[「学界—昭和十六年度法学界の回顧と展望—」]『法律年鑑 昭和十七年』日本評論社、1942年12月25日
- 公法史『法律史』<現代日本文明史 第5巻>東洋経済新報社、1944年3月10日
- 公法学・政治学[「学界—昭和十七年度法学界の回顧と展望—」]『法律年鑑 昭和十八年版』日本評論社、1944年11月20日
- 憲法問題『公民教育講座 第1輯』社会教育協会、1946年11月15日
- 新憲法の性格『日本国憲法 解説と資料』時事通信社、1946年11月25日
- 新憲法概説『読売政治年鑑 昭和22年版』読売新聞社、1946年12月10日
- 国民の権利及び義務『新憲法講座 第2巻』政治教育協会、1947年4月25日[再刊『新憲法講座 上』国土社、1949年]
- 国会と内閣『新憲法講話』憲法普及会編、政界通信社、1947年7月20日
- 新憲法と女性『新女性全書 教養篇』鎌倉文庫、1948年8月15日

選挙制度『日本政治の変革過程』＜社会主義講座 第7巻(政治3)＞社会主義教育協会編、三元社、1948年8月25日

選挙制度『官僚論・選挙制度・地方自治制』＜学生文庫第5＞三元社、1948年10月20日

法律『何を読むべきか』毎日新聞社、1949年9月1日

\*皇室法『新憲法付属法講座 第二巻』国土社、1949年[高見編「宮沢俊義著作一覧」記載]

モンテスキュー『法律思想家評伝』日本評論社、1950年4月30日

憲法『法学研究の葉 上』東京大学学生文化指導会編・刊、1950年7月16日[共同執筆：小嶋和司]

英語を習った頃のことども『新英語教育講座 別巻』研究社出版、1950年9月25日

モンテスキュー『法の本質』『社会科学の基礎理論』＜社会科学講座 第1巻＞弘文堂編集部編、弘文堂、1950年10月15日

憲法『法学』横田喜三郎との共編、勁草書房、1950年11月20日

基本的人権『近代社会の構造と危機』＜社会科学講座 第5巻＞弘文堂編集部編、弘文堂、1951年2月28日

新聞の責任『新聞の自由』日本新聞協会編、岩波書店、1952年6月7日[『平和と人権』収録]

エッセイの愛読者として歓迎する[「推薦のことば」]『現代随想全集(第一期)全13巻』[出版内容見本]、創元社、1953年5月配本開始

日本国憲法の性格と改正論[1954年5月24日自由党憲法調査会総会速記録]『日本国憲法の性格と問題点』＜特別資料 第2＞自由党憲法調査会、1954年6月

\*Exposé sommaire de l'évolution récente du droit public japonais, *Etude et documents du Conseil d'Etat*, 1954

新聞と名誉毀損『新聞の責任 名誉棄損を中心として』[日本新聞協会編]岩波書店、1956年4月13日[日本新聞協会第2次新聞法制研究会(委員長蟬山政道、委員小野清一郎・宮沢俊義・千葉雄次郎・河原峻一郎・戒能通孝)報告]

国家と宗教『宗教』＜NHK新書＞日本放送出版協会、1956年12月25日

モンテスキュー『近代法思想史の人々』＜『法学セミナー』1957年4月号別冊付録＞1957年4月1日[木村亀二編『近代法思想史の人々』(日本評論社、1968年)収録]

序『海軍兵学校』田中常治著、鱒書房、1957年5月1日

\*平和に生きるために『平和に生きるために 世界人権宣言をめぐる諸問題』日本ユネスコ国内委員会、1958年11月[座談会：横田喜三郎、坂西志保]

最高裁判所の性格『憲法演習』清宮四郎・佐藤功編、有斐閣、1959年9月30日[「最高裁意見について」と改題、『平和と人権』収録]

抵抗権『抵抗権の問題』[日本哲学会編]＜法哲学年報 1959＞有斐閣、1960年9月25日

ぼくはゴを知っている『基がたき 囲碁随筆』榊山潤編、南北社、1960年12月20日

たたかう民主制『自由の法理 尾高朝雄教授追悼論文集』尾高朝雄教授追悼論文集編集委員会編、有斐閣、1963年6月30日[『法律学における学説』、『各国憲法論』＜文献選集日本国憲法15＞(三省堂、1977年)収録]

学問の自由と忠誠条項『憲法の諸問題』清宮四郎博士退職記念論文集刊行委員会編、有斐閣、1963年7



- 月 30 日[『法律学における学説』収録]
- 憲法の基本問題『憲法問題』<新聞編集資料 8>日本新聞協会、1964 年 6 月 15 日
- 野球選手への人生訓『プロ野球読本』野口務編、プレス東京、1964 年 10 月 5 日
- 基本的人権『憲法読本 上』憲法問題研究会編 <岩波新書>岩波書店、1965 年 4 月 27 日
- 語学の効用『随筆集 日本人と外国語』語学教育研究所編、開拓社、1966 年 4 月 20 日
- 根本的革新への出発『わが愛する東京 革新都政に期待する』社会新報、1967 年 3 月 10 日
- [祝辞]『中日スタジアム二十年』中日スタジアム株式会社、1968 年 3 月 1 日
- 「わが党の土」『回想 笠信太郎』笠信太郎追悼集刊行会、1968 年 11 月 3 日[再刊：朝日新聞社、1969 年 7 月 25 日]
- 「[学匪と呼ばれた父—天皇機関説回想]中の談」『証言私の昭和史 第 2』[東京 12 チャンネル報道部編]学芸書林、1969 年 7 月 31 日[復刊：<文春文庫>文芸春秋社、1989 年 3 月]
- 神々の復活、民主的な態度とは、新しい倫理と貞操観、人権の感覚、動物の生存権、人類はどこへ行く、平和問答、芸術のアカデミー、白髪三千丈、厄年と糸瓜仏、読書道雑話、八月十五日を想う、わが青春記、美濃部達吉先生のおもい出『末川博・南原繁・宮沢俊義集』<随想全集 第 3 巻>尚学図書、1969 年 12 月 5 日
- 変動期のなかの政治思想『世界の名著 60 バジヨット ラスキ マッキーヴァー 付録 42』中央公論社、1970 年 1 月[鼎談：蛭山政道、辻清明]
- 福翁自伝(福沢諭吉)『続 わたしの古典』日本放送出版協会、1970 年 3 月 25 日
- 選挙放送の二十年『続・放送夜話—座談会による放送史』日本放送協会、1970 年 9 月 20 日[座談会：井口虎一郎、堀四志男]
- 法解釈と裁判とについての対話『理論法学の課題 法哲学・法社会学・法史学』<ジュリスト増刊 基礎法学シリーズ 3>有斐閣、1971 年 1 月 20 日[『憲法論集』収録]
- 奥野信太郎君『奥野信太郎回想集』三田文学ライブラリー、1971 年 6 月 15 日
- ケルゼン教授の訃に接して『ハンス・ケルゼン』<UP 選書>鶴飼信成・長尾龍一編、東京大学出版会、1974 年 3 月 25 日[『憲法論集』収録]
- enlightend despot『追想の我妻栄 険しく遠い道』有泉亨ほか編、一粒社、1974 年 10 月 15 日
- 新生日本の道標「新憲法」[インタビュー]『昭和史探訪 5 巻 終戦前後』番町書房、1975 年 7 月 30 日[復刊：<角川文庫>角川書店、1985 年]

### 3. 編・監修

- 『公法学の諸問題 美濃部教授還暦記念』[編]有斐閣、1934 年 12 月 25 日
- 『憲法関係法規集』宮沢俊義、1936 年 5 月 15 日
- 伊藤博文著『憲法義解』[校注]<岩波文庫>岩波書店、1940 年 4 月 15 日
- 『新憲法関係法規集 上・下』[共編：田中二郎]<新憲法大系 第 13 巻>国立書院、1948 年 10 月 20 日
- 『六法全書』[共編：我妻栄]<1948 年～1962 年版>有斐閣
- 『小六法』[共編：我妻栄]<1948 年～1962 年版>有斐閣

- \* 『法令年報 昭和 24 年』 第 1・2 集[共編：我妻栄]有斐閣、1949 年、1950 年
- \* 『新法令の速報』[共編：我妻栄]<1950 年～1951 年版>有斐閣[高見編「宮沢俊義著作一覧」記載]  
 美濃部達吉著『新憲法概論[普及版]』[宮沢俊義増補]<法学選書>有斐閣、1950 年 7 月(序文)[『憲法概論(新版)』有斐閣、1965 年 3 月 25 日]  
 美濃部達吉『日本国憲法原論』[宮沢俊義補訂]有斐閣、1952 年 5 月 30 日  
 『憲法教材』[共編]<判例教材叢書>有斐閣、1952 年 11 月 30 日  
 『憲法教材 第 2 集』[共編]<判例教材叢書>有斐閣、1956 年 1 月 30 日  
 美濃部達吉著『新憲法逐条解説』[宮沢俊義増補]<社会科学双書>日本評論新社、1956 年 7 月 31 日  
 『人権宣言集』[共編：高木八尺・末延三次]<岩波文庫>岩波書店、1957 年 3 月 25 日[「人権宣言概説」のほか、「イタリア共和国憲法」、「元老院の国憲」、「大日本帝国憲法」、「日本国憲法」の解説を執筆]  
 『小六法の友 法律案内』[共編：我妻栄]有斐閣、1957 年 12 月 20 日  
 『世界憲法集』[編著] <岩波文庫>岩波書店、1960 年 1 月 25 日[「成文憲法概説」、「イタリア共和国憲法解説」、「日本国憲法解説」を執筆。第 2 版：1975 年]

#### 4. 辞典類

- 『社会科学大辞典』[社会思想社編]改造社、1930 年 5 月 15 日[執筆項目：「イギリス選挙法」「言論の自由」「三権分立論」「参政権」「集会自由」「住居自由」「出版自由」「選挙制度」「大学選挙区」「ドイツ選挙法」「読会」「日本選挙法」「フランス選挙法」「立憲制度」]
- 『法律学辞典 第 1 巻』岩波書店、1934 年 12 月 5 日[執筆項目：「イェリネック」「議院法」「貴族院」「憲法」]
- 『法律学辞典 第 2 巻』岩波書店、1935 年 6 月 30 日[執筆項目：「公式令」「国体」「国法・国法学」「参政権」「支那憲法」「衆議院」]
- 『法律学辞典 第 3 巻』岩波書店、1936 年 3 月 15 日[執筆項目：「政体」「政党」「政府」「太傅」「太政官布告」「帝国議会」「デュギー」]
- 『法律学辞典 第 4 巻』岩波書店、1936 年 8 月 27 日[執筆項目：「フランス憲法」「ベルギー憲法」「モンテスキュー」「立憲政」「ルソー」]
- 『岩波法律学小辞典』[共編：我妻栄・横田喜三郎]岩波書店、1937 年 11 月 15 日
- 『社会科事典 第五巻』平凡社、1949 年 5 月 20 日[執筆項目：「選挙」]
- 『社会科事典 第八巻』平凡社、1949 年 7 月 25 日[執筆項目：「[日本の]政治/外交/法律」]
- 『社会科事典 第九巻』平凡社、1949 年 8 月 25 日[執筆項目：「[フランスの]法律」「民主主義」]
- 『社会科学辞典』河出書房、1949 年 11 月 30 日[執筆項目：「デモクラシー」「法・法学」]

#### 5. 憲法問題調査委員会・帝国議会貴族院・国会衆議院委員会等における発言等

- 『ボツダム』宣言ニ基ク憲法、同付属法令改正要点[1945 年 9 月 28 日講演(於外務省)。『外務省記録[外交記録]』中「ボツダム宣言受諾関係一件(第 3 巻)』(国立国会図書館憲政資料室所蔵)。江藤淳編『占領史録 3 憲法制定経過』(講談社、1989 年)収録]

- 『英米両国議会制度ニ就テ』<公報付録> 1945年10月8日講演筆記於衆議院議会制度調査特別委員会[市政専門図書館所蔵]
- 調査会資料(昭和二〇年一月二日調査会配布、宮沢稿)『入江俊郎文書』中「9 憲法問題調査委員会関係」(国立国会図書館憲政資料室所蔵) [芦部信喜『日本国憲法制定資料全集 1 憲法問題調査委員会関係資料等』<日本立法資料全集 71>(信山社、1997年)収録]
- 大日本帝国憲法改正試案[1945年12月22日憲法問題調査委員会提出。『入江俊郎文書』中「9 憲法問題調査委員会関係」(国立国会図書館憲政資料室所蔵) [芦部信喜『日本国憲法制定資料全集 1 憲法問題調査委員会関係資料等』<日本立法資料全集 71>(信山社、1997年)収録]
- 甲案[1946年1月4日憲法問題調査委員会第8回調査会(小委員会)提出。『入江俊郎文書』中「9 憲法問題調査委員会関係」(国立国会図書館憲政資料室所蔵) [芦部信喜『日本国憲法制定資料全集 1 憲法問題調査委員会関係資料等』<日本立法資料全集 71>(信山社、1997年)収録]
- 乙案[1946年1月4日憲法問題調査委員会第8回調査会(小委員会)提出。『入江俊郎文書』中「9 憲法問題調査委員会関係」(国立国会図書館憲政資料室所蔵) [芦部信喜『日本国憲法制定資料全集 1 憲法問題調査委員会関係資料等』<日本立法資料全集 71>(信山社、1997年)収録]
- 憲法改正要綱『入江俊郎文書』中「9 憲法問題調査委員会関係」(国立国会図書館憲政資料室所蔵) [芦部信喜『日本国憲法制定資料全集 1 憲法問題調査委員会関係資料等』<日本立法資料全集 71>(信山社、1997年)収録]
- 【憲法改正案に関する政府に対する質疑】1946年8月26日『第90回帝国議会貴族院議事速記録』<官報号外 第23号、1946年8月27日> [『国民主権と天皇制』付録、『憲法の原理』、『現代のエスプリ 34 天皇制』(至文堂、1970)収録、『憲法の原理』から『新しい憲法のはなし 付載七篇』収録]
- 【憲法改正案に関する質問】『第90回帝国議会貴族院 帝国憲法改正案特別委員会議事速記録 第6号』1946年9月6日
- 【憲法改正案に関する質問】『第90回帝国議会貴族院 帝国憲法改正案特別委員会議事速記録 第16号』1946年9月18日
- 【憲法改正案に関する質問】『第90回帝国議会貴族院 帝国憲法改正案特別委員会議事速記録 第18号』1946年9月20日
- 【帝国憲法改正案の審議】『[第90回帝国議会貴族院]第1回帝国憲法改正案特別委員小委員会筆記要旨』1946年9月28日
- 【帝国憲法改正案の審議】『[第90回帝国議会貴族院]第2回帝国憲法改正案特別委員小委員会筆記要旨』1946年9月30日
- 【帝国憲法改正案の審議】『[第90回帝国議会貴族院]第3回帝国憲法改正案特別委員小委員会筆記要旨』1946年10月1日
- 【帝国憲法改正案の審議】『[第90回帝国議会貴族院]第4回帝国憲法改正案特別委員小委員会筆記要旨』1946年10月2日
- 【帝国憲法改正案の審議】『第90回帝国議会貴族院 帝国憲法改正案特別委員小委員会議事速記録 第1号』1946年10月2日
- 【皇室典範案に関する質問】『第91回帝国議会貴族院 皇室典範案特別委員会議事速記録 第6号』1946年12月22日
- 【地方自治法案に関する質問】『第92回帝国議会貴族院 地方自治法案特別委員会議事速記録 第2号』1947年3月24日

[地方自治法案に関する質問]『第 92 回帝国議会貴族院地方自治法案特別委員会議事速記録 第 3 号』  
1947 年 3 月 25 日

[財政法案及び會計法を改正する法律案に関する質問]『第 92 回帝国議会貴族院 国有財産法の一部を改正する法律案特別委員会議事速記録 第 2 号』1947 年 3 月 30 日

[衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案への賛成意見] 1947 年 3 月 31 日『92 回帝国議会貴族院議事速記録』<官報号外 第 29 号、1947 年 4 月 1 日>

参考人意見『第 5 回国会衆議院 選挙法改正に関する特別委員会議録 第 6 号』1949 年 6 月 1 日

参考人意見[「元号」に関する調査の件]『第 7 回国会参議院文部委員会会議録 第 9 号』1950 年 3 月 7 日

公述人意見『第 15 回国会衆議院 内閣委員会公聴会議録 第 1 号』1953 年 2 月 17 日

参考人意見『第 19 回国会衆議院 法務委員会上訴制度に関する調査小委員会及び違憲訴訟に関する小委員会連合会議録 第 3 号』1954 年 7 月 8 日[『最高裁判所機構改革問題関係資料 その 3』(法務省大臣官房調査課、1957 年)収録]

公述人意見『第 26 回国会衆議院 法務委員会議録 第 28 号』1957 年 4 月 23 日

参考人発言および質疑『憲法調査会総会議事録 第 10 回』憲法調査会、1958 年 2 月 19 日

参考人意見『第 63 回国会衆議院 文教委員会議録 第 20 号』1970 年 5 月 8 日

## 6. 大学講義録

『憲法 昭和十一年度東大講義』[2 分冊]東京プリント刊行会、1935 年 10 月 1 日、15 日

『憲法 昭和十二年度東大講義』東京プリント刊行会、1936～1937 年 2 月

『憲法 (二) [高文参考]』<昭和 12 年 9 月以降講義東京帝国大学法学部>帝大プリント聯盟、1937 年 11 月 10 日

『憲法 1 [新版]』<東京帝国大学法学部昭和 13 年 4 月以降講義>帝大プリント聯盟、1938 年 9 月 10 日

『憲法 2 [新版]』<東京帝国大学法学部昭和 13 年 9 月以降講義>帝大プリント聯盟、1938 年 12 月 5 日

『憲法 昭和十三年度東京帝国大学法学部講義』東大ノート交換クラブ、1938 年

## 7. 高等学校教科書

『高等学校政治・経済』[共著：増田四郎・古川哲史]角川書店、1964 年

『高等学校政治・経済』[改訂版] [共著：増田四郎・古川哲史ほか]角川書店、1968 年 1 月

『高等学校政治・経済 指導参考書』[共著：増田四郎・古川哲史]角川書店、1968 年 4 月

『高等学校倫理・社会』[共著：増田四郎・古川哲史ほか]角川書店、1968 年 1 月

『高等学校政治・経済』[共著：増田四郎 ほか]角川書店、1975 年 1 月[改訂版：1978 年]

## 8. 論文等(新聞・雑誌掲載)<1456 篇>

### 1923(大正 12)年

A.Esmein, Elements de droit constitutionnel français et comparé, 1921[「紹介」]『国家学会雑誌』37-10、10月1日

### 1924(大正 13)年

仏国憲政に於ける大統領の地位—無責任なる国家元首の存在理由に関する考察の一[「雑録」]『法学協会雑誌』42-2、3、2月1日、3月1日[「憲法論集」収録]

Hearnshaw, F. J. C., ed., The social and political ideas of some great mediaeval thinkers[「紹介及批評」]『国家学会雑誌』38-5、5月1日

Duguit, L., Traité de droit constitutionnel[「紹介及批評」]『国家学会雑誌』38-5、5月1日

美濃部達吉「行政法撮要」総論、各論上及下[「紹介及批評」]『国家学会雑誌』38-5、5月1日

恒藤恭「社会と意思」[「紹介及批評」]『国家学会雑誌』38-5、5月1日

選挙の秘密とロオマ字投票[「大学より社会へ」]『帝国大学新聞』75、5月16日

ローマ字投票について—世良法学士の誤解をとく—『帝国大学新聞』78、6月6日

堀切善次郎著『貴族院改革資料』[「紹介及批評」]『国家学会雑誌』38-7、7月1日

Anschutz, G., Drei Leitgedanken der Weimarer Reichsverfassung[「紹介及批評」]『国家学会雑誌』38-7、7月1日

Rauschenberger, Walther, Die staatsrechtliche Bedeutung von Staatsstreich und Revolution[「紹介及批評」]『国家学会雑誌』38-8、8月1日

硬性憲法の変遷—米国憲法に於ける中央集権的傾向について『国家学会雑誌』38-8、9、8月1日、9月1日[「憲法の原理」収録]

Davy, G., Le droit, l'idéalisme et l'expérience[「紹介及批評」]『国家学会雑誌』38-10、10月1日

Gettell, R. G., History of political Thought[「紹介及批評」]『国家学会雑誌』38-12、12月1日

森口繁治著『立憲主義と議会政治』[「紹介及批評」]『国家学会雑誌』38-12、12月1日

Koellreutter, O.& Gmelin H., Ausländisches Staatsrecht[「紹介及批評」]『国家学会雑誌』38-12、12月1日

土耳其共和国新憲法[訳・美濃部達吉校閲、「資料」]『法学協会雑誌』42-12、12月1日

### 1925(大正 14)年

仏蘭西[「一九二四年度海外政治立法事情」]『国家学会雑誌』39-1、1月1日

仏国裁判所の法律審査権—「事実」と「学説」との対抗『国家学会雑誌』39-2、2月1日[「憲法と裁判」収録]

抵抗権史上に於けるロック『我等』7-2、2月1日[「憲法思想」収録]

Burgess, J. W., Recent changes in American constitutional theory [「紹介及批評」]『国家学会雑誌』39-6、6月1日

土橋友四郎著『日本憲法比較対照世界各国憲法』[「紹介及批評」]『国家学会雑誌』39-6、6月1日

法律における科学と技術—又は法律学における存在と当為『国家学会雑誌』39-8、9、8月1日、9月1日[『法律学における学説』収録]

投票の秘密について『国家学会雑誌』39-10、10月1日[『選挙法要理』付録に収録]

Reed, T. H., Government and politics of Belgium [「紹介及批評」]『国家学会雑誌』39-11、11月1日

Dodd, W. F., State government [「紹介及批評」]『国家学会雑誌』39-11、11月1日

美濃部達吉著「類集評論行政法判例」[「紹介及批評」]『国家学会雑誌』39-12、12月1日

### 1926(大正 15・昭和元)年

独逸[「一九二五年度海外政治立法事情」]『国家学会雑誌』40-1、1月1日

馬場鏊一著『憲法政治の理論と実際』[「紹介及批評」]『国家学会雑誌』40-1、1月1日

清水澄著『帝国公法大意』[「紹介及批評」]『国家学会雑誌』40-1、1月1日

責任[1月、『銀杏の並木』収録]

森口繁治著『比例代表法の研究』[「紹介及批評」]『国家学会雑誌』40-3、3月1日

Hal, D.G.E., A brief survey of English constitutional history [「紹介及批評」]『国家学会雑誌』40-4、4月1日

仏国裁判所の法律審査権について—ラティエ氏の事件を機縁として『国家学会雑誌』40-7、7月1日[『憲法と裁判』収録]

Roustan, M., The pioneers of the French Revolution. translated by F. Whyte [「紹介及批評」]『国家学会雑誌』40-9、9月1日

余計な話[12月、『銀杏の並木』収録]

### 1927(昭和 2)年

仏蘭西[「一九二六年度海外政治事情」]『国家学会雑誌』41-1、1月1日

愚感二題『法律春秋』2-1、1月1日

Hauriou, *La théorie de l'institution et de la fondation*, 1925 [「紹介及批評」]『国家学会雑誌』41-2、2月1日

Bonnard, R., *Les réglemens des assemblées législatives de la France depuis 1789*, 1926 [「紹介及批評」]『国家学会雑誌』41-4、4月1日

大陸に於ける英国憲法研究の先駆『国家学会雑誌』41-6、8、10、6月1日、8月1日、10月1日[『憲法の思想』収録]

「万法精理」に於ける日本『帝国大学新聞』219、9月12日[『銀杏の窓』収録]

仏国新選挙法について[「資料」]『国家学会雑誌』41-11、11月1日

法的規範の妥当性とケルゼンの批判 黒田覚氏著「ウイン学派の法律学と其の諸問題」を読む『帝国大学新聞』228、11月14日

### 1928(昭和3)年

仏蘭西[「一九二七年度海外政治事情」]『国家学会雑誌』42-1、1月1日

普選線上に立ちて『帝国大学新聞』243、3月5日[座談会：松田源治、田川大吉郎、片山哲、美濃部達吉、蠟山政道、岡田忠彦、松谷与二郎、藤森成吉、野村淳治、牧野良三、三輪寿壯]

議長の決裁権について『帝国大学新聞』250、4月30日

英国に於けるモンテスキュー[4月、『銀杏の並木』、『宮沢俊義随筆集』収録]

国家主権概念の克服[「学界余談」]『東京朝日新聞』6月1～4日[「国家主権概念の克服」と改題、東京朝日新聞学芸部編『学界餘談 第二編』(興学会出版部、1928年12月13日)収録]

美濃部達吉著『逐条憲法精義』[「紹介及批評」]『国家学会雑誌』42-9、9月1日[『憲法論集』収録]

フランス中間期における消極投票の先例『帝国大学新聞』264、9月24日[『選挙法要理』付録に収録]

「法の精神」とカルテジヤニスム『法学志林』30-10、11、10月1日、11月1日[『憲法の思想』収録]

雑誌『明治文化研究』特輯国会号[「紹介及批評」]『国家学会雑誌』42-12、12月1日

### 1929(昭和4)年

仏蘭西[「一九二八年度海外政治事情」]『国家学会雑誌』43-1、1月1日

議事妨害について『帝国大学新聞』290、3月25日

我国最初の比例代表法案『帝国大学新聞』295、5月6日[『選挙法要理』付録に収録]

美濃部博士訳「人権宣言外三篇」を読み[「新刊批評」]『経済往来』4-8、8月1日

Renard, G., *La Valeur de la loi*, 1928 [「紹介及批評」]『国家学会雑誌』43-8、8月1日

問題の件に付て[「『法規命令』に就て」]『受験界』10-10、10月1日

枢密院における国務大臣の表決謙を廃止せよ[「学界余談」]『東京朝日新聞』12月8～12日

### 1930(昭和5)年

仏蘭西[「一九二九年度海外政治事情」]『国家学会雑誌』44-1、1月1日

外交に対する民主的統制「外交の民主化」の法律的考察『外交時報』53-2、1月15日[『憲法と政治制度』収録]

山崎又次郎氏著「憲法総論」を読む[「新刊批評」]『法律時報』2-1、2月1日

### 1931(昭和6)年

連盟規約第十九条について『国際知識』11-6、6月1日

## 1932(昭和 7)年

- [記事「左右抗争するドイツの学生—法学部の宮沢教授帰る」中の談]『帝国大学新聞』430、5月2日
- ドイツ憲法と官吏の減俸『帝国大学新聞』435、6月6日
- 公法学における政治—現代ドイツ公法学界の一つの傾向について—『法学協会雑誌』50-7、7月1日[『公法の原理』収録]
- イェリネック「一般国家学」の邦訳[「新刊批評」]『法律時報』4-8、8月1日
- 立法・行政両機関の間の権限分配の原理—法律と行政行為との関係『国家学会雑誌』46-10~12、10月1日、11月1日、12月1日[『憲法の原理』収録]
- ケルロイター著「民族的法治国」(Koellreutter, Der nationale Rechtsstaat, 1932)『法学協会雑誌』50-10、10月1日
- 河川法における先決問題の訴訟[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』46-11、11月1日
- 府県議員候補者の推薦届出をなすには選挙権を有することを要するか[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』46-11、11月1日

## 1933(昭和 8)年

- 大戦争の責任—ヴェルサイユ条約二三一条の意味—『外交時報』674、1月1日
- 仏蘭西[「一九三二年度海外政治事情」]『国家学会雑誌』47-1、1月1日
- 議会制のたそがれ 諸国政治の動向『帝国大学新聞』460、1月1日[「転回期の政治」収録]
- 道路法二八条四項の法意—管理者は既往に遡つて占有料を新設・増額しうるか[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』47-2、2月1日
- 比例代表制について『法律時報』5-2、2月1日[「憲法と政治制度」収録]
- 選挙法の改正について『国際評論』2-3、3月1日
- 議会と「常置委員」—その設置は憲法違反か否か—『帝国大学新聞』469、3月6日
- 評議員法学博士吉野作造氏の逝去[「会報」]『国家学会雑誌』47-4、4月1日
- 美濃部達吉著「評釈公法判例体系」[「新刊批評」]『法律時報』5-4、4月1日
- 強力政治の一側面『国際評論』2-6、6月1日
- 市の地先海面の船舶内に居住する者の住居[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』47-6、6月1日
- 府県と請負関係にある者の当選承諾の効力は当選訴訟の目的となりうるか—請負関係にある者のなせる当選承諾は有効か—請負を譲渡しうるか[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』47-6、6月1日
- イェリネック「憲法改正の限界」W. Jellinek, Grenzen der Verfassungsgesetzgebung, 1931[「紹介」]『法学協会雑誌』51-7、7月1日
- ドイツの国民革命とユダヤ人排斥立法『警察研究』4-7、7月5日[「憲法論集」収録]
- 民主政より独裁政へ—政治に於けるタブーの再生—『中央公論』48-9、9月1日[「転回期の政治」、「民主制と独裁制」と改題『民主制の本質的性格』、『新しい憲法のはなし 付載七篇』収録]
- 国民革命とドイツ憲法[「時論」]『国家学会雑誌』47-9,10、10月1日



地方税の徴収義務者の責任—飲興税を機縁として『自治研究』9-10、10月5日

ドイツ憲法史の転回点 国民革命の種々相『外交時報』693、10月15日

水利組合会における過半数の意義[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』47-11、11月1日

特殊な受験方法は無い[「講評と研究」]『受験界』14-11、11月1日

「法の研究」寸感[「図書」]『読売新聞[夕刊]』11月27日

選挙法の改正—ひとつの対話—『法律時報』5-12、12月1日

## 1934(昭和9)年

ライプホルツ「自由的民主政の解消」Leibholz, Die Die Auflösung der liberalen Demokratie in Deutschland und das autoritäre Staatsbild, 1933 [「紹介」]『国家学会雑誌』48-2、2月1日

独裁政理論の民主的扮装『中央公論』49-2、2月1日[『転回期の政治』、『民主制の本質的性格』、『憲法  
の思想』収録]

公開の裁判と報道の自由—ある新聞紙法違反事件を機縁として—『警察研究』5-2、2月5日[『憲法と  
裁判』収録]

官選か公選か—東京都長の選任方法—『帝国大学新聞』512、2月5日

都長民選論『都市問題』18-3、3月1日

公法国際協会(付)法律哲学国際協会[「海外公法政治学界事情」]『国家学会雑誌』48-4、4月1日

政変の前夜[「第六十五議会の結論」]『文芸春秋』12-4、4月1日

議院法と選挙法の改正問題—第六五回議会を中心として—『自治研究』10-4、4月5日

ラレントツ「ドイツの法律革新と法律哲学」K. Larenz, Deutsche Rechtserneuerung und Rechtsphilosophie, 1934[「紹介」]『国家学会雑誌』48-5、5月1日

中野登美雄著、統帥権の独立[「紹介」]『法学協会雑誌』52-5、5月1日

新法令解説[解説項目：衆議院議員選挙法中改正法律、糸価安定融資担保生糸買収法中改正法律、日本銀行特別融通及損失補償法中改正法律、地方鉄道法又ハ軌道法ニ依リ交付スル関連証券ニ関スル法律、昭和九年度一般会計歳出ノ財源ニ充ツル為公債発行ニ関スル法律、昭和九年度一般会計歳出ノ財源ニ充ツル為公債追加発行ニ関スル法律、昭和九年度一般会計歳出ノ財源ニ充ツル為公債第二次追加発行ニ関スル法律、台湾事業公債法中改正法律、朝鮮事業公債法中改正法律、満州事件ニ関スル一時賜金トシテ公布スル公債発行ニ関スル法律、昭和七年度法律第一号中改正法律、秋田鉄道株式会社所属鉄道外三鉄道買収ノ為公債発行ニ関スル法律、播電鉄道株式会社所属鉄道ノ経営廃止ニ対スル補償ノ為公債発行ニ関スル法律]『法学協会雑誌』52-5、5月1日

国民代表の理論[学術講演会全学公開第一日講演要旨]『帝国大学新聞』527、5月7日

算教授還暦祝賀論文集『帝国大学新聞』528、5月14日

貴族院と枢密院『中央公論』49-6、6月1日[『日本憲政史の研究』収録]

メートル法は々非々『帝国大学新聞』531、6月4日[『法学随想 文化と大学』(帝国大学新聞社出版部、1935年)、『銀杏の並木』収録]

官僚の抬頭『改造』16-8、7月1日

坂野声名[「一頁時評」]『経済往来』9-7、7月1日

メートル法は々非々『計量界』266、7月5日[『帝国大学新聞』531、6月4日の転載。『メートル法を語る』<『計量界』271臨時増刊>(日本度量衡協会、1934年11月19日)収録]

岡田内閣の誕生『東京日日新聞』7月9～11日

岡田内閣を迎へて[「一頁時評」]『経済往来』9-8、8月1日

「政党に復活力ありや」座談会『文芸春秋』12-9、9月1日[座談会：前田米蔵、安藤正純、俵孫一、富田幸次郎、河崎克、安部磯雄、加藤鯛一、中野正剛、阿部真之助]

議会政治と独裁政治『自治研究』10-9、9月5日

重要物産同業組合の過怠金賦課権の範囲[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』48-10、10月1日

週末短言『婦人之友』28-10、10月1日【臨時議會の問題、予算編成、国語と日本精神、トーキョーとトーケイ、東京市電の罷免】

対満政治機構改革問題『帝国大学新聞』544、10月8日

民主制と相对主義哲学『外交時報』717、10月15日[『民主制の本質的性格』、『憲法思想』収録]

「その筋」の神経『経済往来』9-11、11月1日[『銀杏の並木』収録]

カピタン「議会議の改革」R. Capitant, La réforme du parlementarisme, 1934[「紹介」]『国家学会雑誌』48-11、11月1日

Annales de l'institut de droit comparé de l'université de Paris, 1, 1934[「紹介」]『国家学会雑誌』48-11、11月1日

Annuaire de l'institut international du philosophie du droit et sociology juridique, 1934-1935[「紹介」]『国家学会雑誌』48-11、11月1日

酒巻芳男著「皇室制度講話」[「紹介」]『国家学会雑誌』48-11、11月1日

藤井新一著「日本比較憲法論」[「紹介」]『国家学会雑誌』48-11、11月1日

独裁的政治形態の本質『中央公論』49-12、11月1日[『転回期の政治』、『独裁制の本質的性格』と改題『民主制の本質的性格』収録]

「蟬丸」の禁[「一頁時評」]『経済往来』9-12、12月1日

田畑忍「帝国憲法逐条要義」(増補改訂版昭和九年)[「紹介」]『国家学会雑誌』48-12、12月1日

戦跡[「庭球仙台遠征記」]『緑会雑誌』6、12月10日

## 1935(昭和10)年

氏又は名の一部を記載した投票の効力[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』49-1、1月1日

家号又は商号だけを記載した投票の効力[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』49-1、1月1日

記載の一部分が不明な投票の効力[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』49-1、1月1日

美濃部達吉「日本憲法の基本主義」[「紹介」]『国家学会雑誌』49-1、1月1日

臨時議會を中心として—議會の政治的効用—[「今の問題」]『婦人之友』29-1、1月1日

ブレヴォ・パラドルの議會思想『公法雑誌』1-1、1月5日[『憲法と政治制度』収録]

- 憲法と政党『自治研究』11-1、1月5日[『憲法と政治制度』収録]
- 都制と都長民選の提唱『都市研究』31、1月15日
- 人権蹂躪問題 貴院における美濃部博士の演説『帝国大学新聞』560、1月28日
- 試練の前に立つ司法権 大蔵省事件をめぐる「法律ファッション」のうはさ『改造』17-2、2月1日
- 杉村・我妻・木村・後藤著「ナチスの法律」[紹介]『国家学会雑誌』49-2、2月1日
- 古井喜実著「昭和九年選挙法令改正解説」[紹介]『国家学会雑誌』49-2、2月1日
- 流儀の定め『文芸春秋』13-2、2月1日[『銀杏の並木』、『宮沢俊義随筆集』収録]
- 公法学会における近時の収穫[紹介]『法学協会雑誌』53-2、2月1日
- 『必修』は必然[我等の学制改革案応募原稿七十一篇につき諸教授の批判を訊く]『帝国大学新聞』562、2月11日
- 解散の効用『改造』17-3、3月1日
- 「美濃部達吉論」[「三月の論壇」]『東京朝日新聞』3月5日[『新聞集成昭和編年史 昭和十年度版』(明治大正昭和新聞研究会、1967年)収録]
- 宗教の検討[「三月の論壇」]『東京朝日新聞』3月6日
- 太平洋の問題[「三月の論壇」]『東京朝日新聞』3月7日
- 学年末非常時[「三月の論壇」]『東京朝日新聞』3月8日
- 名誉職議員の歳費 東京市会議員の歳費増額問題『帝国大学新聞』567、3月18日
- 『外人部隊』近頃気に入った映画『帝国大学新聞』574、4月22日
- 新法令解説[解説項目：昭和十年度一般会計歳出ノ財源ニ充ツル為公債発行ニ関スル法律、昭和十年度一般会計歳出ノ財源ニ充ツル為公債追加発行ニ関スル法律、昭和十年度一般会計歳出ノ財源ニ充ツル為公債第二次追加発行ニ関スル法律、昭和七年法律第一号中改正法律(満州事件ニ関スル経費支弁ノ為公債発行ニ関スル件)、朝鮮事業公債法中改正法律、南朝鮮鉄道株式会社所属鉄道買収ノ為公債発行ニ関スル法律、札幌軌道株式会社及矢作水力株式会社所属軌道ノ経営廃止ニ対スル補償ノ為公債発行ニ関スル法律、宮崎県営鉄道及軌道並ニ大隅鉄道株式会社所属鉄道買収ノ為公債発行ニ関スル法律]『法学協会雑誌』53-5、5月1日
- 河村教授の「直接民主政治」[「新刊批評」]『法律時報』7-5、5月1日
- 公法人と私法人の異同『自治研究』11-6、6月5日[『公法の原理』収録]
- 洗練された映画 トビス・別れの曲『帝国大学新聞』581、6月10日[「別れの曲」と改題『銀杏の並木』収録]
- 夏日漫語—政治現象を呼ぶ言葉—『行動』3-8、8月1日[「政治と標語 夏日漫語」と改題『銀杏の並木』収録]
- 『公法国際協会叢書』[「紹介」]『国家学会雑誌』49-8、8月1日
- 重要物産同業組合は営業品の売買代金を制限しうるか[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』49-8、8月1日
- 音楽の思ひ出[「どういう点に心惹かれるか」]『婦人之友』29-8、8月1日[『銀杏の並木』収録]
- 映画清談『文芸春秋』13-8、8月1日[『銀杏の並木』収録]

カルメン『改造』17-9、9月1日[『銀杏の並木』収録]

公法・私法の区別に関する議論について 方法的反省の必要『国家学会雑誌』49-9、9月1日[『公法の原理』収録]

恩給年限と無給の在職年限[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』49-9、9月1日

フランスにおける国家改革論『中央公論』50-9、9月1日[『転回期の政治』収録]

[「読書欄 潮流に聴く」]『読売新聞』9月22日

白票の話『帝国大学新聞』592、9月30日[『銀杏の並木』収録]

博士インフレ[9月、『銀杏の並木』収録]

今日の話『改造』17-10、10月1日[座談会：長谷川如是閑、山川均、阿倍真之助、菊池寛、山本実彦、真鍋嘉一郎、鈴木文史郎]

市吏員の退隠料と退職給与金[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』49-10、10月1日

日本文化を再評価する談話会『日本評論』10-10、10月1日[座談会：安倍能成、今井登志喜、長谷川如是閑、室伏高信、和辻哲郎]

政府と政党の関係一わが憲政史の回顧一『自治研究』11-10～12、10月5日、11月5日、12月5日[『転回期の政治』、「政党内閣のおいたち」と改題『民主制の本質的性格』、原題のまま『日本憲政史の研究』収録]

白夜を語る座談会『帝国大学新聞』595、10月21日[座談会：武田麟太郎、柳瀬正夢、袋一平、永田乙夫、野沢隆一]

日本語を話す異人[10月、『銀杏の並木』収録]

子供の話[「七五三」]『婦人之友』29-11、11月1日

選挙粛正の断想[「選挙粛正運動の批判」]『法律時報』7-11、11月1日

刑法類推禁止論と大森氏の「博士談議」[「論壇時評」]『読売新聞』11月6日

白票の道徳性 田中氏論文の疑点[「論壇時評」]『読売新聞』11月7日

エチオピア問題 その他の諸論文[「論壇時評」]『読売新聞』11月8日

青いドーナウ[11月、『銀杏の並木』収録]

行政裁判所の法律審査権[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』49-12、12月1日

大学へ入った頃『緑会雑誌』7、12月4日[『銀杏の並木』、『宮沢俊義随筆集』収録]

吉野作造博士追悼記念論文集『政治学及政治史研究』を読む『帝国大学新聞』603、12月9日

西洋人の日本観[「冬日随想」]『週刊朝日』28-29、12月28日[『銀杏の並木』収録]

寒さ[12月、『銀杏の並木』収録]

## 1936(昭和11)年

立命館三五周年記念論文集 法経篇[「紹介」]『国家学会雑誌』50-1、1月1日

同志社創立六〇周年・同志社論叢五〇周年記念論文集[「紹介」]『国家学会雑誌』50-1、1月1日

- [「一九三六年に題す」]『中央公論』51-1、1月1日
- 良国民となるために 大国民となるために『婦人之友』30-1、1月1日[11月28日座談会(於自由学園)：清沢冽、永井柳太郎、長谷川如是閑、三木清、三宅雪嶺、杉森孝次郎、吉岡弥生、蠟山政道、羽仁吉一、羽仁もと子][『三木清研究資料集成』第3巻(クレス出版、2018年)収録]
- 法律学における学説—それを「公定」といふことの意味『法学協会雑誌』54-1、1月1日[『法律学における学説』収録]
- 司法作用の概念『警察研究』7-1、1月5日[『憲法と裁判』収録]
- 学問と迷信[1月、『銀杏の並木』収録]
- 付加税の訴訟手続[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』50-2、2月1日
- 中央大学五十周年記念論文集 法律之部[「紹介」]『国家学会雑誌』50-2、2月1日
- 西洋映画の日本語版[「映画隨筆」]『セルパン』60、2月1日[『銀杏の並木』収録]
- 議会制の凋落『中央公論』51-2、2月1日[「議会制の危機」と改題『民主制の本質的性格』、原題のまま『転回期の政治』、『憲法と政治制度』収録]
- さまよえるユダヤ人『日本評論』11-2、2月1日[『銀杏の窓』、『銀杏の並木』、『宮沢俊義隨筆集』収録]
- 総選挙を迎えて『帝国大学新聞』610、2月3日
- 宮沢俊義氏炉辺のひととき あれこれ放談『都新聞[夕刊]』2月11日
- 『第九』漫語 音楽における「忠臣蔵」『帝国大学新聞』613、2月24日[『銀杏の並木』収録]
- 社会時評 総選挙をかへりみて『都新聞』2月25～27日
- カントロヴィッツ「独裁政」H. Kantrowiez, Dictatorship, 1935[「紹介」]『国家学会雑誌』50-3、3月1日
- 議会の過去・現在および将来『セルパン』61、3月1日
- 明日の政局[「軍部か官僚か政党か」]『日本評論』11-3、3月1日
- 白亜の議事堂偉観[「大東京新十一景」]『婦人之友』30-3、3月1日
- 尾高教授の「法哲学」[「新刊批評」]『法律時報』8-3、3月1日[『憲法論集』収録]
- 総選挙雑感『警察研究』7-3、3月5日
- 峯村光郎著『法律学序説』[「読書欄」]『東京朝日新聞』3月29日
- 高校生活復活の必要 大学入試制度改革私案『帝国大学新聞』620、3月31日[『銀杏の並木』収録]
- 民主政の本質とその諸発顕形態[G. Leibholz, Das Wesen und die verschiedenen Erscheinungsformen der Demokratie の訳]『国家学会雑誌』50-4、5、4月1日、5月1日
- 現代諸国の政治について[「子供政治史」]『婦人之友』30-4、4月1日
- 『続法窓夜話』『帝国大学新聞』623、4月27日
- 良識[4月、『銀杏の並木』収録]
- フランスの公法学界[「海外公法政治学界事情」]『国家学会雑誌』50-5、5月1日
- 世論と大衆[「大衆の声なき力」]『中央公論』51-5、5月1日[『転回期の政治』、『民主政の本質的性格』収録]

地方制度改革に関する断想『都市問題』22-5、5月1日

貴族院の改革『文芸春秋』14-5、5月1日[『転回期の政治』収録]

公法と私法[「資料」]『法学協会雑誌』54-5、5月1日[『公法の原理』収録]

貴族院改革の行方[「日曜評論」]『都新聞[夕刊]』5月11日

戒厳令下の議会[「寺内陸相と肅軍」]『改造』18-6、6月1日

ボルンハク「諸憲法の系譜」Bornhak, *Genealogie der Verfassungen, 1935*[「紹介」]『国家学会雑誌』50-6、6月1日

制度と人—各方面の制度改革論について—『警察研究』7-6、6月5日[「貴族院の改革(その2)」と改題、  
『転回期の政治』収録、原題のまま『日本憲政史の研究』収録]

政党国家から政党独裁政へ—政党の反映とその没落『改造』18-7、7月1日[『転回期の政治』、「政党の  
危機」と改題『民主政の本質的性格』、原題のまま『憲法と政治制度』収録]

映画館への注文[「映画随想」]『サンデー毎日』15-33、7月1日[『銀杏の並木』収録]

芝居と寄席—学生時代の追憶から『文芸』4-7、7月1日[『銀杏の並木』、『宮沢俊義随筆集』収録]

アナウンサーへの注文[7月、『銀杏の並木』収録]

選挙犯管見—二三大の審院判決について—『警察研究』7-8、8月5日

[「第十二回オリムピック東京開催に関する感想及び各方面への希望と註文」]『改造』18-9、9月1日

ミルキヌ・ゲツェヴィチ「コンヴェンション、ナショナルの議院主義」Mirkine-Guetzévitch, *Le  
parlementarism sous la convention nationale, 1936*[「紹介」]『国家学会雑誌』50-9、9月1日

ケルロイター「ドイツ行政法」Koellreuter, *Deutsches Verwaltungsrecht, 1936*[「紹介」]『国家学会雑誌』  
50-9、9月1日

バルズー「明日のフランス」Bardoux, *La France de demain, 1936*[「紹介」]『国家学会雑誌』50-9、9月1  
日

末広巖太郎編「法律年鑑」昭和一一年[「紹介」]『国家学会雑誌』50-9、9月1日

日本映画は何故面白くないか『日本映画』1-6、9月1日[「日本映画」と改題『銀杏の並木』収録]

法律時評『法律時報』8-9、9月1日

投票の「父の捜査」『警察研究』7-9、9月5日

[「オリムピックを聴いて」葉書回答]『放送』6-9、9月15日

ニュルンベルク法—ドイツの「自由の憲法」[「時論」]『国家学会雑誌』50-10、10月1日[「ドイツの「自  
由の憲法」—ニュルンベルク法—」と改題、『転回期の政治』収録]

憲法の比較的・歴史的研究について『警察研究』7-10、10月5日[『公法の原理』収録]

メロ「議院制度の進化」Mélot, *L'Evolution du régime parlementaire, 1936*[「紹介」]『国家学会雑誌』50-11、  
11月1日

ブレロ「ファシスト帝国」PreLOT, *L'Empire fasiste*[「紹介」]『国家学会雑誌』50-11、11月1日

寄付の蔑取の許可を取消す処分と出訴権[「公法判例」]『国家学会雑誌』50-11、11月1日

北海道土組組合費の滞納処分と名誉職就任権[「公法判例」]『国家学会雑誌』50-11、11月1日

行政機構の改革『中央公論』51-11、11月1日[『転回期の政治』収録]  
 わが国の法哲学[「論説」]『法律時報』8-11、11月1日  
 神と技術の統一 異色ある「法学序説」『帝国大学新聞』645、11月2日  
 立法の委任について『公法雑誌』2-11、11月5日[『憲法の原理』収録]  
 鉄の処女[「槍騎兵」]『東京朝日新聞』11月14日[『銀杏の並木』収録]  
 読書漫語『三田新聞』362、11月20日  
 広告十字軍[「槍騎兵」]『東京朝日新聞』11月30日[『銀杏の並木』収録]  
 「国家改革」La réforme de L'état,1936[「紹介」]『国家学会雑誌』50-12、12月1日  
 ケルロイター「ドイツ憲法」第二版 Koellreuter, Deutsches Verwaltungsrecht, 2 Aufl.,1936 [「紹介」]『国家学会雑誌』50-12、12月1日  
 モンテスキュー「ペルシア人の手紙」斉田礼門訳(昭和一年)[「紹介」]『国家学会雑誌』50-12、12月1日  
 町村税の賦課と町村の出訴権[「公法判例」]国家学会雑誌』50-12、12月1日  
 法人に戸数割を課しうるか[「公法判例」]国家学会雑誌』50-12、12月1日  
 他の選挙区の選挙に関する選挙人の訴権—県会招集の暇の有無と自由裁量—選挙の結果に異動を生ずるといふ意味[「公法判例」]国家学会雑誌』50-12、12月1日  
 省令による委任[「公法判例」]国家学会雑誌』50-12、12月1日  
 議会の改革[「議会否認か議会主義か」]『日本評論』11-12、12月1日  
 米国大統領の選挙[「研究」]『警察研究』7-12、12月5日[『憲法論集』収録]  
 科学的精神[「槍騎兵」]『東京朝日新聞』12月10日[『銀杏の並木』収録]  
 ラヂオ妄語[「ラヂオ随想」]『放送』6-12、12月15日[『銀杏の並木』収録]

### 1937(昭和12)年

ファッション辞典『改造』19-1、1月1日[共同監修：木下半治]  
 イエリネック著・大森英太郎訳「法・不法及刑罰の社会倫理的意義」[「紹介」]『国家学会雑誌』51-1、1月1日  
 増田福太郎著「法学序説」[「紹介」]『国家学会雑誌』51-1、1月1日  
 ボナル「ナチス理論における法と国家」Bonnard, Le droit et l'état dans la doctrine national-socialiste, 1936[「紹介」]『国家学会雑誌』51-1、1月1日  
 所得税法施行地外へ転任後の納税義務[「公法判例」]『国家学会雑誌』51-1、1月1日  
 立憲主義の危機『中央公論』52-1、1月1日[『日本憲政史の研究』収録]  
 俳諧に凝った話『話』5-1、1月1日[『銀杏の並木』、『宮沢俊義随筆集』収録]  
 立法・行政機構を如何に改革すべきか『大阪毎日新聞』1月3日  
 [「現代の学生に呈したき苦言一つ」]『神戸商大新聞』79、1月20日  
 『国家構造論』国家学に於る科学性の回復『帝国大学新聞』657、1月25日

政局の行方[「広田内閣の審判」]『改造』19-2、2月1日

古井喜実著「選挙制度」[「紹介」]『国家学会雑誌』51-2、2月1日

クロウキ「立憲政の起源と性質」Clokie, The origin and nature of constitutional government, 1936[「紹介」]『国家学会雑誌』51-2、2月1日

戸数割による資力算定法—恩給権の資産額算定法—勤労収入を所得に計上するほかさらにそれを資産と見積るなどの違法—資産の増殖ある場合に増殖資産としてそれを計上するほかさらに増殖資産として資産の算定することの違法—別居者の資産加算の違法[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』51-2、2月1日

祭典夜女軍勲功『帝国大学新聞』661、2月22日[『銀杏の並木』収録]

議会の効用の推移『改造』19-3、3月1日[『民主政の本質的性格』収録]

清宮四郎『ケルゼン「一般国家学」邦訳』[「紹介」]『国家学会雑誌』51-3、3月1日

美濃部達吉著、選挙訴訟及当選訴訟の研究[「紹介」]『法学協会雑誌』55-3、3月1日

自治制と政治形態『市政研究』3-2、3月15日

不登簿船の差押—国税徴収法二二条の差押手続[「公法判例」]『国家学会雑誌』51-4、4月1日

議員候補者の届出に対する選挙長の審査権—登録に錯誤ある選挙人名簿の効力[「公法判例」]『国家学会雑誌』51-4、4月1日

この青少年を如何にすべき『婦人之友』31-4、4月1日[3月1日座談会(於南沢自由学園): 渡辺千秋、平生夙三郎、佐野善作、美濃部亮吉、鈴木達治、入沢宗寿、野口援太郎、真島正市、羽仁吉一、羽仁もと子]

府県制第三二条第四項の法意—「選挙ノ期日後ニ於テ被選挙権ヲ有セザルニ至リタルトキ」の意味[「公法判例」]『国家学会雑誌』51-5、5月1日

福島県吏員給与規則の法意—県吏員から待遇職員に転じた者に対する退職給与金の算定[「公法判例」]『国家学会雑誌』51-5、5月1日

むかしの学生といまの学生『セルパン』76、5月1日[『銀杏の並木』収録]

解散と新政党『中央公論』52-5、5月1日

新法令解説[解説項目: 樺太市制、保険所法、結核予防法中改正法律、北海道旧土人保護法中改正法律、防空法]『法学協会雑誌』55-5、5月1日

選挙運動取締雑題『警察研究』8-5、5月5日

独善的態度を排し政党と和協を図れ 再解散の放送は遺憾[「新政局に直面して」]『東京朝日新聞』5月8日[「政党との"和協"回復 政府は力を尽くせよ」[「総選挙結果を斯く見る」]『大阪朝日新聞』5月8日]

耕地整理組合費の滞納処分と出訴権[「公法判例」]『国家学会雑誌』51-6、6月1日

訴訟費用の負担[「公法判例」]『国家学会雑誌』51-6、6月1日

訴願を経ぬ行政訴訟[「公法判例」]『国家学会雑誌』51-6、6月1日

町村長の賠償責任と恩赦[「公法判例」]『国家学会雑誌』51-6、6月1日

労働奉仕制度『警察研究』8-6、6月5日

東京市吏員の退隠料は差押へうるか[「大審院公法判例研究録」]『国家学会雑誌』51-7、7月1日



- 家屋の賃貸価格算定と敷地および造作の賃貸価格[「行政裁判判決研究録」]『国家学会雑誌』51-7、7月1日
- 政変の後[「特集 政局と景気—政変後の日本経済の動向とその批判」]『財政経済時報』24-7、7月1日
- 芸術と政府『文学界』4-8、8月1日
- 政党独裁政『警察研究』8-8、8月5日[「政党独裁制の本質的性格」と改題、『民主政の本質的性格』収録]
- 恩給請求と経由庁の進達拒絶—恩給局長の裁決を経ぬ行政訴訟[「行政裁判判決研究録」]『国家学会雑誌』51-9、9月1日
- 四月一日以後の家屋の移動と改訂賃貸価格の適用年度[「行政裁判判決研究録」]『国家学会雑誌』51-9、9月1日
- 繰上補充について『法学協会雑誌』55-9、9月1日
- [「カレントボックス」]『帝国大学新聞』685、9月13日
- ニュース映画の真実性『東京朝日新聞』9月22日
- 氷島瑣話[9月、『東と西』収録]
- 国家学会五十周年記念国家学論集[「紹介」]『国家学会雑誌』51-10、10月1日
- J. Barthélemy et Mirkine-Guetzévitch, Le droit public de la révolution, 1937[「紹介」]『国家学会雑誌』51-10、10月1日
- 市会議員の総辞職と繰上当選[「行政裁判判決研究録」]『国家学会雑誌』51-10、10月1日
- 妻の専用物件と所有権—滞納者の所有に属しない物件の差押へ[「行政裁判判決研究録」]『国家学会雑誌』51-10、10月1日
- 狩猟鳥獣以外の鳥獣捕獲の許可と他人の代行[「大審院公法判例研究録」]『国家学会雑誌』51-10、10月1日
- 収賄罪の成立と他管事務—宮城県土木技手補は公務員か[「大審院公法判例研究録」]『国家学会雑誌』51-10、10月1日
- 全体主義的国家観『警察研究』8-10、10月5日[『憲法論集』収録]
- 勸進帳聴聞『帝国大学新聞』689、10月11日[『東と西』収録]
- 真理を愛する心[「主張と動向」]『大阪朝日新聞[京都版]』10月13日
- ローマ字綴の統一[「槍騎兵」]『東京朝日新聞』10月17日
- 否定的表決の諸形式[「叢説」]『国家学会雑誌』51-11、11月1日[『憲法論集』収録]
- 美濃部達吉「選挙罰則の研究」[「紹介」]『国家学会雑誌』51-11、11月1日
- 土地区画整理に関する標識を除去する罪の成立[「大審院公法判例研究録」]『国家学会雑誌』51-11、11月1日
- 学校組合委員の選任手続[「大審院公法判例研究録」]『国家学会雑誌』51-11、11月1日
- 読書閑談『書物展望』7-11、11月1日
- ニュース映画について『改造』19-13、11月18日[『東と西』収録]
- 大本營の設置と内閣制度の改革—戦時的政治体制の生成—[「近衛内閣の改造」]『中央公論』52-13、12

月 1 日

刑の執行猶予と公民権[「行政裁判判決研究録」]『国家学会雑誌』51-12、12月1日

被告の表示の適否[「行政裁判判決研究録」]『国家学会雑誌』51-12、12月1日

事実行為に対する出訴—上級庁への訴願を経ぬ訴訟—行政庁の不行為に対しその行為を求める訴訟[「行政裁判判決研究録」]『国家学会雑誌』51-12、12月1日

暖房と外套『文芸春秋』15-16、12月1日

新法令解説[解説項目:軍機保護法中改正法律、兵役法中改正法律、軍需工業動員法ノ適用ニ関スル法律、臨時馬ノ移動制限ニ関スル法律]『法学協会雑誌』55-12、12月1日

緑会懸賞論文を読んで『緑会雑誌』9、12月5日

新響を聴く『帝国大学新聞』700、12月20日[「新響拝聴」と改題、『東と西』収録]

ロオマ字雑談『都新聞』12月24、25日[「銀杏の窓」収録]

芸術アカデミイ[「銀杏の窓」、『末川博・南原繁・宮沢俊義集』収録]

### 1938(昭和13)年

映画随感『科学ペン』3-1、1月1日

尾佐竹猛著『日本憲政史論集』(昭和一二年)『法学協会雑誌』56-1、1月1日

『法律学小辞典』の編輯者の一人として『岩波月報』24、1月5日

人種的法律観『警察研究』9-1、1月5日

渡辺幾治郎氏著『日本憲法制定史講』[「読書蘭」]『東京朝日新聞』1月24日

アランの好著政治と文化『帝国大学新聞』705、1月31日

渡辺幾治郎著「日本憲法制定史講」[「紹介」]『国家学会雑誌』52-2、2月1日

着物の哲学『婦人公論』23-2、2月1日[「銀杏の窓」、『宮沢俊義随筆集』収録]

土橋友四郎著「ナチス独逸国の修正憲法」[「紹介」]『国家学会雑誌』52-3、3月1日

北海道土功組合地区内編入の所有者異同と通知義務—誤記—土功組合設置認可と不同意者—組合事業によつて利益を受けぬ土地に対する組合費の賦課[「行政裁判判決研究録」]『国家学会雑誌』52-3、3月1日

時価以下の株式売買差金と賞与金[「行政裁判判決研究録」]『国家学会雑誌』52-3、3月1日

指導者と指導者国家『警察研究』9-3~5、3月5日、4月5日、5月5日[「憲法論集」収録]

ル・フェウルの自然法論『公法雑誌』4-3、3月5日[「憲法思想」収録]

伊藤博文「修正憲法稿本」[「紹介」]『国家学会雑誌』52-4、4月1日

La réforme de l'Etat [「紹介」]『国家学会雑誌』52-4、4月1日

Dockhorn, Die Staatsphilosophie des englischen Idealismus, ihre Lehre und Wirkung [「紹介」]『国家学会雑誌』52-4、4月1日

Forman, A good word for democracy [「紹介」]『国家学会雑誌』52-4、4月1日

- 自治制五十年雑感『自治研究』14-4、4月5日
- 『自治制発布五十周年記念論文集』[「自治制発布五十周年記念論文集」に就て]『都市問題』28-4、4月1日
- たそがれるヴィイン『改造』20-5、5月1日[「ウイーンの運命」と改題、『東と西』、『宮沢俊義随筆集』収録]
- Tardieu, La profession parlementaire [「紹介」]『国家学会雑誌』52-5、5月1日
- Cram, The end of democracy[「紹介」]『国家学会雑誌』52-5、5月1日
- Castillejo, Wars of ideas in Spain,[「紹介」]『国家学会雑誌』52-5、5月1日
- 選挙の規程の意義—訴訟の違法却下裁決とその取消[「行政裁判判決研究録」]『国家学会雑誌』52-5、5月1日
- Service Public の概念について『法学協会雑誌』56-5、5月1日[「公法の原理」収録]
- Leclercq, Leçons de droit naturel, 5 vols., 1933-1937[「新刊短評」]『法学協会雑誌』56-5、5月1日
- Du Pasquier, Introduction a la théorie générale et a la philosophie du Droit, 1937 [「新刊短評」]『法学協会雑誌』56-5、5月1日
- エスケープの懐ひ出[「今昔高校の横顔」]『帝国大学新聞』720、5月16日[「一高の思ひ出」と改題『東と西』、『宮沢俊義随筆集』収録]
- 隣のラヂオ[5月、『東と西』収録]
- 日光の節約と半ドンの廃止『改造』20-6、6月1日
- ナチス・ドイツ憲法の生成『国家学会雑誌』52-6、6月1日[「憲法論集」収録]
- 尾佐竹猛、明治政治史点描[「紹介」]『国家学会雑誌』52-6、6月1日
- 「自治制発布五十周年記念論文集」[「新刊批評」]『法律時報』10-6、6月1日
- 失われた真実感『大いなる審判』の審判『帝国大学新聞』725、6月20日
- 佐々木博士還暦記念「憲法及行政法の諸問題」[「紹介」]『国家学会雑誌』52-7、7月1日
- 民選議院論争の回顧『警察研究』9-7、8、7月5日、8月5日[「民選議院論争」と改題『民主制の本質的性格』、原題のまま『日本憲政史の研究』収録]
- 内閣制度の改革『東京日日新聞』7月27~29日
- 議会制改革論『改造』20-8、8月1日
- 東京都制案要綱(内務省地方局案)について『国家学会雑誌』52-8、8月1日
- Verchierini, L'exception d'illégalité en France [「紹介」]『国家学会雑誌』52-8、8月1日
- Mankiewicz, Le nationalsocialisme allemand. Ses doctrines et leurs réalisations [「紹介」]『国家学会雑誌』52-8、8月1日
- 国語の発音『新風土』1-3、8月1日[「銀杏の窓」収録]
- Felipe Genzalez Vican, Deutsche und spanische Rechtsphilosophie der Gegenwart, 1937[「新刊紹介」]『法学協会雑誌』56-8、8月1日
- 本と署名『東京堂月報』25-8、8月15日[「東と西」収録]

Leroy, Les tendances du pouvoir et de la liberté en France au XXe siècle[「紹介」]『国家学会雑誌』52-9、9月1日

寄席今昔[9月、『東と西』収録]

洋楽是々非々『音楽評論』7-10、10月1日

Ambrosini, L'unione sovietica nella sua formazione e struttura[「紹介」]『国家学会雑誌』52-10、10月1日

解散登記後の株式会社の出訴権—鉱業権許可の要件—競願の場合の優先権[「行政裁判判決研究録」]『国家学会雑誌』52-10、10月1日

執達吏と一時恩給[「行政裁判判決研究録」]『国家学会雑誌』52-10、10月1日

ドイツ型予算理論の側面『国家学会雑誌』52-10、11、10月1日、11月1日

第二次世界大戦とイギリス[「気流塔」]『世界週刊』1-21、10月1日

東と西—血の反撥—『日本評論』13-11、10月1日[『東と西』収録]

読書道『帝国大学新聞』737、10月24日

貧困に因り生活の為公私の援助を受け又は扶助を受くる者の意義[「行政裁判判決研究録」]『国家学会雑誌』52-11、11月1日

帝国学士院編『皇室制度史 第一巻・第二巻」]『紹介』『国家学会雑誌』52-11、11月1日

厄年と糸瓜仏『知性』1-7、11月1日[『東と西』、『末川博・南原繁・宮沢俊義集』、『宮沢俊義随筆集』収録]

牧野英一博士著パンテオンの人人[「読書頁」]『東京日日新聞[夕刊]』11月1日

「法律における思想と論理」[「新刊紹介」]『法学協会雑誌』56-11、11月1日

Larenz, Über Gegenstand und Methode des völkischen Rechtsdenkens, 1938[「新刊紹介」]『法学協会雑誌』56-11、11月1日

自治概念の変遷—指導者国家における自治—『自治研究』14-11、11月5日[『憲法論集』収録]

まづ内閣制度改革 国政諸般一新を要す[「長期建設に乗出す」]『東京朝日新聞』11月8日[内閣大臣の減員 まづ国内諸制度の改革へ『大阪朝日新聞』11月8日][『長期建設への途』(朝日新聞社編・刊、1938年)収録]

Blanchet, Les services publics en regie devant l'impôt [「紹介」]『国家学会雑誌』52-12、12月1日

Palazzi, L'idea del diritto nel sistema giuridico corporativo, 1936[「新刊紹介」]『法学協会雑誌』56-12、12月1日

アルジェリヤの裁判『読書と人生』1-3、12月1日

\*長期建設と内閣制度『時潮』[4-12]、12月

選挙制度の改正—特に大選挙区制の採用に就て—『帝国大学新聞』744、12月5日

喀痰取締規則[『銀杏の窓』収録]

1939(昭和 14)年

- 政治の単位としての個人と家『改造』21-1、1月1日
- 時局收拾と国民再編成『改造』21-1、1月1日[12月29日座談会(於東京会館):有馬頼寧、馬場恒吾、高橋亀吉、津久井龍雄、長谷川如是閑、尾崎秀実、山本実彦]
- 「天路を拓く」を読んで[「僕等の頁」]『科学ペン』4-1、1月1日
- 第七四回議會を迎へて『警察研究』10-1、1月5日
- 文化と戦争[「聖戰第三年を迎へて」]『東京朝日新聞』1月9日[『東と西』、『宮沢俊義隨筆集』収録]
- 文化の批判的摂取[「日独文化協定と放送」]『放送』9-1、1月15日
- 親和協力の確立[「平沼内閣への直言」]『中央公論』54-2、2月1日
- 小島の春『帝国大学新聞』754、2月20日[『東と西』収録]
- 守られぬ法律[「槍騎兵」]『東京朝日新聞』4月6日
- 綜合雑誌の問題[「槍騎兵」]『東京朝日新聞』4月15日
- ゲム・セット[「槍騎兵」]『東京朝日新聞』4月30日
- 国籍法雑題『法学協會雑誌』57-5、5月1日
- 近代と英雄[「新刊愛書メモ」]『東京朝日新聞[夕刊]』6月3日
- 連邦の功罪—アメリカの経験—『警察研究』10-6、7、6月5日、7月5日[『憲法論集』収録]
- 音楽と学生[「学生生活と音楽」]『音楽評論』8-7、7月1日[『東と西』収録]
- 佐々木博士還暦記念「憲法及行政法の諸問題」[「紹介」]『国家学会雑誌』53-7、7月1日
- 戸数割納税義務者の一部に対する資産指数の配当脱漏は他の納税義務者に対する賦課額を過重ならしめる[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』53-7、7月1日
- 処分庁を經由せぬ訴願[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』53-7、7月1日
- 町村会議員選挙と立候補[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』53-7、7月1日
- 政治への関心『文芸春秋』17-13、7月1日
- 矢部貞治・田川博三氏訳 ケルロイター「ナチス・ドイツ憲法論」『図書』42、7月5日
- 幸運の手紙[「槍騎兵」]『東京朝日新聞』7月29日
- 漁業権の存続期間更新免許申請の拒否—鯿建網漁業権の存続期間[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』53-8、8月1日
- 動産差押と占有—小為替券の発送と納税の了否[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』53-8、8月1日
- 闇取引[「窓外」]『新愛知[夕刊]』8月5日
- ナチス全体主義思想の一代表シュミットの国家・議會・法律『日本読書新聞』90、8月5日
- 行政機構[「特輯 国内改革の諸問題」]『国家学会雑誌』53-9、9月1日[『憲法論集』収録]
- S. Panunzio, Teoria generale dello stato fascista [「紹介」]『国家学会雑誌』53-9、9月1日
- 高柳賢三 独裁政と法律思想[「新刊紹介」]『法学協會雑誌』57-9、9月1日

跛行景気[「窓外」]『新愛知[夕刊]』9月14日  
戦争のニュース映画を見て『改造』21-11、9月28日  
官僚の文学[「槍騎兵」]『東京朝日新聞』9月29日  
[「欧州大戦を如何に見るか」]『日本評論』14-10、10月1日  
帝国憲法の特異性[8月30日講演筆記於民政党政治講習会]『民政』13-10、11、10月1日、11月1日  
入学試験の問題[「窓外」]『新愛知[夕刊]』10月4日  
戦争[「欧州大戦に直面して」]『中央公論』54-11、10月10日  
日本音楽雑感『映画と音楽』3-11、11月1日[『東と西』収録]  
戸数割の賦課と資産状況調査[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』53-11、11月1日  
退隠料の給与に関する処分に対する異議申立期間[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』53-11、11月1日  
ラインの守り『日本評論』14-11、11月1日[『東と西』収録]  
読書道雑話『文芸春秋』17-21、11月1日[『東と西』、『末川博・南原繁・宮沢俊義集』、『宮沢俊義随筆集』収録]  
内閣総理大臣の権限の強化『警察研究』10-11、11月5日[『日本憲政史の研究』収録]  
読書人と冬『学鏡』43-11、11月20日[『東と西』、『銀杏の窓』収録]  
意義深き訳業[ポール・プールジェ(広瀬哲士訳)『死』(東京堂刊)広告中の推薦文]『帝国大学新聞』787、11月20日  
自動車税賦課と期間経過後の異議申立一府県制一一五条三項および同一二八条ノ二第一項の訓示的性質[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』53-12、12月1日  
自由問答『緑会雑誌』11、12月20日[『銀杏の窓』収録]  
予見[『銀杏の窓』収録]

## 1940(昭和15)年

孫文主義と共産主義『改造』22-1、1月1日  
[「二千五百年代を顧みて二千六百年代を想ふ」]『婦人之友』34-1、1月1日  
「法学瑣論」を読む[「新刊批評」]『法律時報』12-1、1月1日  
内政改革の諸問題『新愛知』1月4日  
地方制改革について『自治研究』16-1、1月5日  
清水伸著「独塊に於ける伊藤博文の憲法取調と日本憲法」『東京朝日新聞』1月9日  
「能楽手記」その他『東京堂月報』27-1、1月15日  
内閣と議会[「窓外」]『新愛知[夕刊]』1月20日  
正月[「随想」]『週刊朝日』37-4、1月21日[『東と西』収録]  
信義の尊重[「槍騎兵」]『東京朝日新聞』1月21日

- 訴願裁決庁の審理権の範囲[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』54-2、2月1日
- 差押へた財産の価格が優先権等を控除して残余のない場合[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』54-2、2月1日
- 憲法上問題なし 兵政分離の建前変らず[「危急に処す非常措置」]『読売新聞』2月22日
- 兄弟の縁故ある者が異なる選挙区で水利組合議員に当選した場合[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』54-3、3月1日
- 低物価の抛棄[「窓外」]『新愛知[夕刊]』3月5日
- [「良書紹介」]『図書』50、3月5日
- 事変処理の一段落『新愛知[夕刊]』3月21日
- 支那中央政権の確立『福岡日日新聞』3月23日
- 白髪三千丈『都新聞』3月29～31日[『東と西』、『末川博・南原繁・宮沢俊義集』、『宮沢俊義隨筆集』収録]
- 美しき争ひ[「洋画評論」]『改造』22-7、3月31日
- 町村会の読会是全議員に通知するを要するか一告知の方式[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』54-4、4月1日
- 区会議員選挙と投票分会一選挙事務関係者の昼食休憩[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』54-4、4月1日
- 近衛声名と事変処理『大陸』3-4、4月1日
- 東京市長の問題『帝国大学新聞』807、4月15日
- 貴族院の当選訴訟の判決について『警察研究』11-5、5月5日
- 貴重なる教訓 欧州戦局をかく見る『東京朝日新聞』5月23日
- 市長に当選した市助役の退職手続き一市助役が市長に当選した場合に市助役退職の手続きを必要とするか[「論説」]『国家学会雑誌』54-6、6月1日
- 法定の告知期間を存せずに招集せられた町村会の決定の効力一瑕疵ある決定を補完し得るか[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』54-6、6月1日
- 不介入主義[「窓外」]『新愛知[夕刊]』6月2日
- 紅毛人の混浴観『帝国大学新聞』814、6月3日[『東と西』収録]
- 宿命の争覇点 ストラスブールを憶ふ『東京日日新聞』6月21～23日[「ストラスブールを憶ふ」と改題、『東と西』、『宮沢俊義隨筆集』収録]
- 内大臣論『改造』22-12、7月1日[『日本憲政史の研究』収録]
- 紅毛人の混浴観『黒船』17-7、7月1日
- 行政処分を自己の不利益に変更することの請求一許可を受けずになされた戸数割制限外課税一戸数割総額決定の違法を理由とする戸数割賦課取消請求[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』54-7、7月1日
- 新党の意味[「新党問題・是々非々」]『文芸春秋』18-10、7月1日
- 戦争と平和 フランスの没落『改造』22-13、7月2日[『東と西』収録]

日本の外事警察[「槍騎兵」]『東京朝日新聞』7月5日

フランスの教訓[「窓外」]『新愛知[夕刊]』7月11日

公德[「曳光弾 社会寸評」]『大洋』2-8、8月1日

斯くあるべき新政党『文芸春秋』18-11、8月1日

学生と謡[「続学生と謡曲」]『宝生』19-8、8月1日

ロオマ字投票－被救助者の範囲[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』54-8、8月1日

誤記を証正した投票[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』54-8、8月1日

差押官吏たる証票の呈示は滞納処分の有効要件か－差押調書における立会人の署名捺印の意味[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』54-8、8月1日

[「かくあるべし新体制 葉書回答」]『中央公論』55-8、8月1日

憲法義解縁起[「資料」]『法学協会雑誌』58-8、9、8月1日、9月1日[共同執筆：林茂]

時局と汽車[「窓外」]『新愛知[夕刊]』8月4日

全体主義の本質的性格 抽象的な“全体”概念 皇道との差異に注目『東京朝日新聞』8月4日

時事法制二題『警察研究』11-8、8月5日

新政治体制と内閣『日本評論』15-9、8月20日

新体制と営利精神[「窓外」]『新愛知[夕刊]』9月1日

汽車に乗って『国際知識及評論』20-9、9月1日[『東と西』収録]

執行権の強化『国家学会雑誌』54-9、9月1日[『日本憲政史の研究』収録]

偽造投票の混入－抜取られた投票の効力[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』54-9、9月1日

議員の失職決定の確定前に行はれた繰上補充は有効か－被選挙権を一旦失ったが選挙会当時それを回復した者を当選人と定め得るか－選挙の期日の一年以内に応召し一年後に失職決定を受けた議員の欠員を繰上補充で補充し得るか[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』54-9、9月1日

新娯楽論[「改造」]22-18、10月1日[「娯楽論議」と改題、『東と西』収録]

補欠選挙を行ふべき場合に総選挙として執行した選挙の性質－その当選議員の任期[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』54-10、10月1日

新体制と憲法『台湾地方行政』6-10、10月1日[宮沢文庫所蔵<A22>]

国民組織と政党『法律時報』12-10、10月1日

専務取締役から平取締役に移した者に給せられる退職慰労金の性質[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』54-11、11月1日

行政訴訟を許さぬ事項[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』54-11、11月1日

選挙法と家[「議会制度の改革」]『帝国大学新聞』830、11月4日

清水伸氏著『帝国憲法制定会議』『図書』58、11月5日

個人主義清算[「窓外」]『新愛知[夕刊]』11月13日

AKABOO-OOBAKA－ローマ字綴方と物理実験－『学士会月報』632、11月20日[『銀杏の窓』収録]



議会開設五十周年『新愛知[夕刊]』11月29、30日  
議会開設五十周年『福岡日日新聞』11月29、30日  
アナトールフランス雑話[11月、『東と西』、『宮沢俊義随筆集』収録]  
音楽的断想[11月、『東と西』収録]  
組合費賦課期日の変更は軽易の事件かー自署捺印を欠く同意書の効力[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』  
54-12、12月1日  
女性と娯楽『新女苑』4-12、12月1日  
選挙公営制など[「選挙法改正私見」]『文芸春秋』18-15、12月1日  
議会制の責務[「国民の建言」]『改造』22-23、12月2日  
帝国議会開設五十年『自治研究』16-12、12月5日  
[「良書紹介」]『図書』59、12月5日  
謡の話[「趣味・スポーツ」]『緑会雑誌』12、12月10日[『銀杏の窓』収録]  
寝台券の闇取引[「窓外」]『新愛知[夕刊]』12月13日

#### 1941(昭和16)年

大政翼賛運動の法理的性格『改造』23-1、1月1日  
選挙制度の改革 政府の改正要綱を中心として『中央公論』56-1、1月1日  
仮名遣ひ[「窓外」]『新愛知[夕刊]』1月14日  
仮名遣ひの問題[「時観」]『河北新報[夕刊]』1月14日  
国家的職分を尽くせ[「翼賛議会に望む」]『新愛知』1月15日  
仮名遣ひの問題[「時観」]『福岡日日新聞[夕刊]』1月15日  
翼賛議会に望む『福岡日日新聞』1月16日  
翼賛議会に望む『河北新報』1月17日  
不在者たる資格を欠く者がなした不在者投票の効力[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』55-2、2月1日  
旧試掘権存続中になされた優先出願[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』55-2、2月1日  
動機に錯誤ある辞職届の効力[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』55-2、2月1日  
公法と家『法律時報』13-2、2月1日  
“家の問題” [「窓外」]『新愛知[夕刊]』2月7日  
柳瀬良幹著行政法の基礎理論[「読書」]『東京日日新聞』2月26日  
旅行随想[2月、『東と西』収録]  
公安を紊る虞あるによる営業免許の取消[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』55-3、3月1日  
まず人間であれ『文芸』9-3、3月1日  
元老院の憲法草案について『国家学会雑誌』55-4、4月1日[『日本憲政史の研究』収録]

町村会の再招集における告知期間一急施事件なりや否やの予定[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』55-4、4月1日

雑木の所有権の所在に関する訴訟[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』55-4、4月1日

村会に於ける出席催告の効力は休憩後の会議にまで及ぶか[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』55-4、4月1日

世に出る女性へ『新女苑』5-4、4月1日[座談会：神近市子、中野重治、村岡花子]

交通地獄[「時観」]『北海タイムス[夕刊]』4月1日

投票所告示の態様一告示番号の方式[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』55-5、5月1日

選挙の規程の注意[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』55-5、5月1日

選挙運動の不純と選挙の規程[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』55-5、5月1日

黄河の水一北支那の瞥見一『改造』23-11、6月1日[『東と西』収録]

天才とエゴイズム『帝国大学新聞』859、6月2日[『東と西』、『宮沢俊義隨筆集』収録]

フランスの敗因『警察研究』12-6、6月5日

興味深き論集 社会科学新辞典[「読書」]『東京日日新聞』6月15日

東京市政調査会著・自治五十年史第一巻制度論編(昭和一五年)[「紹介」]『法学協会雑誌』59-7、7月1日

真の礼法[「時観」]『北海タイムス[夕刊]』7月4日

真の礼法[「時観」]『福岡日日新聞[夕刊]』7月10日

木下半治氏編「新体制辞典」を読む『帝国大学新聞』866、7月14日

換地精算金債務は換地の競落人に移転するか[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』55-8、8月1日

破毀差戻の判決[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』55-8、8月1日

フランスの敗戦雑感『東亞連盟』3-8、8月1日[『東と西』収録]

支那慣行調査について[「法理研究会記事」]『法学協会雑誌』59-8、8月1日[共同執筆：山田三良、我妻栄、江川英文、鈴木竹雄]

国内体制の整備強化『福岡日日新聞』8月4、5日

重臣会議『警察研究』12-8、8月5日[『日本憲政史の研究』収録]

酔つばらひ[「銃眼」]『現地報告』47、8月10日

鈴木安蔵著「日本憲法史概説」『東京朝日新聞』8月25日

国内体制整備論 内閣の政治力の強化『改造』23-17、9月1日[『日本憲政史の研究』収録]

法定面積を超えた鉦区の出願は許されぬ一その場合減区を命ずるは修正補充を命ずることに含まれるか一鉦山監査局長は減区の注意を為す義務を負はぬ[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』55-9、9月1日

鉦業権出願に際し実地調査を行ふと否とは行政庁の自由裁量に属するか一実地調査立会期日の通知は相当期間前に為されるを要する[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』55-9、9月1日

砂鉦法に於ける砂金の意義等[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』55-9、9月1日

- 糞尿譚[「随筆」]『摩登日本』12-9、9月1日  
『スミス君ワシントンへ行く』『改造』23-18、9月2日  
礼法雑話『図書』67、9月5日[『銀杏の窓』収録]  
郵便協力[「時観」]『福岡日日新聞[夕刊]』9月7日  
断想『宝生』20-10、10月1日  
英雄の待望[「時観」]『福岡日日新聞[夕刊]』10月12日  
鹿鳴館のピエル・ロチ『都新聞』10月19～21日[『東と西』、『宮沢俊義随筆集』収録]  
戸数割—所得から負債控除を為すは適法か—老幼控除の申請は口頭で為し得るか[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』55-11、11月1日  
選挙の効力と当選の効力を一の訴で争ひ得るか—区長の投票立会—区長の選挙運動—投票所の設備[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』55-12、12月1日  
長江『大陸』4-12、12月1日[『東と西』収録]  
本の話[「随筆」]『婦人朝日』18-12、12月1日  
結婚談義『婦人公論』26-12、12月1日  
かたをなみ『緑会雑誌』13、12月27日[『銀杏の窓』収録]

#### 1942(昭和17)年

- アングロ・サクソン国家のたそがれ『改造』24-1、1月1日[『東と西』収録]  
[「大東亜戦争と英語の将来」]『カレント・オブ・ザ・ワールド』19-1、1月1日  
津田真道の「泰西国法論」『自治研究』18-1、2、4、6、1月5日、2月5日、4月5日、6月5日[『憲法思想』収録]  
大東亜戦争と国語[「時観」]『合同新報[夕刊]』1月30日  
牧野博士の「非常時立法の発展」を読む[「新刊紹介」]『法学協会雑誌』60-2、2月1日  
[「シンガポール陥落！この吉報を何処で聞いたか」]『日本読書新聞』188、2月23日  
働く国民の書 やさしく書かれた「勤労の道」[井上万寿蔵著『勤労の道』の書評]『日本読書新聞』188、2月23日  
藤田武夫氏の『日本地方財政制度』を読む『図書』74、3月5日  
固有事務の概念『国家学会雑誌』56-4～6、4月1日、5月1日、6月1日  
郵便年金と旧所得税法にいふ年金[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』56-5、5月1日  
所得税法上株式配当金の帰属を定めるには名義によるべきか実質によるべきか[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』56-7、7月1日  
親切感謝の心[「時観」]『合同新聞[夕刊]』7月12日  
酪農業調整法にもとづき牛乳の販売先から除外する処分は営業免許の拒否または取消に該当するか[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』56-8、8月1日

所得金額の審査請求と不利益変更[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』56-8、8月1日  
市町村吏員の賠償責任—結局市町村に損害がない場合に賠償責任はない[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』56-8、8月1日  
釣銭の問題[「時観」]『合同新聞[夕刊]』8月16日  
クロオド・ファレエルの予言『都新聞』8月21～23日[『東と西』収録]  
女子教育論[「現代の女性文化」]『新女苑』6-9、9月1日  
揭示の問題[「時観」]『合同新聞[夕刊]』9月4日  
揭示の問題[「無門関」]西日本新聞[夕刊]』9月5日  
現下都市行政の動向—都市問題を中心として—『市政研究』1、9月20日  
尾高教授の「実定法秩序論」[「紹介」]『国家学会雑誌』56-11、11月1日[『憲法論集』収録]

### 1943 (昭和18)年

音感教育雑感『音楽公論』3-1、1月1日  
東京都制および市町村制の改正について『自治研究』19-1、1月5日  
芝居と戦争『演劇』2-2、2月1日  
試掘出願書添付図面の修正を命ぜられた期限経過後に為した場合[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』57-2、2月1日  
特殊会社の納付金は税法上の損金か[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』57-2、2月1日  
東京都制雑題—「自治」との関係と職員の問題—『都市問題』36-2、2月1日  
結婚難『婦人公論』28-2、2月1日  
戦争と行政『法律時報』15-3、3月1日  
内閣統合化の法律問題『警察研究』14-3、3月5日[『日本憲政史の研究』収録]  
外語教育の問題[「時観」]『北海道新聞[夕刊]』3月18日  
関税の賦課処分の違法を理由としてその滞納処分の違法を主張し得るか[「公法判例研究」]『国家学会雑誌』57-4、4月1日  
若人の国家性[「希望と青春」]『新女苑』7-4、4月1日  
地方制の改正について『都市問題』36-4、4月1日  
横書きの問題[「時観」]『北海道新聞[夕刊]』4月17日  
横書きの問題[「時観」]『合同新聞[夕刊]』4月18日  
春日警戒『帝国大学新聞』941、4月19日  
横書きの問題[「無門関」]『西日本新聞[夕刊]』4月21日  
東京都制について[「資料」]『法学協会雑誌』61-7、7月1日[『憲法論集』収録]  
嫁と姑[「無門関」]『西日本新聞[夕刊]』7月8日

電車往来『緑会雑誌』15、9月15日

外交機構と外交の一元性『警察研究』14-10、11、10月5日、11月5日

子供の心[「無門関」]『西日本新聞[夕刊]』10月5日

親分子分[「無門関」]『西日本新聞[夕刊]』10月19日

行政実例と行政判例の相克『国家学会雑誌』57-11、11月1日[『憲法と裁判』収録]

大東亜の外交[「無門関」]『西日本新聞[夕刊]』11月8日

万邦共栄への推進力[「大東亜宣言の五原則 (五)世界進運貢献」]『毎日新聞』11月14日

万邦共栄への推進力『東方公論』18-12、12月1日

防空法の改正について『法律時報』15-12、12月1日

### 1944(昭和19)年

戦時下の能『宝生』23-2、2月1日

大津事件の法哲学的意味『法学協会雑誌』62-11、11月1日[『憲法と裁判』収録]

数人の候補者が共同して一人の選挙事務長を専任し得るか—選挙運動取締規定の違反と当選の効力[「公法判例研究」]『自治研究』20-12、12月5日

### 1945(昭和20)年

能楽護持『能楽』1-6、9月1日

憲法精神に反す内大臣府の審議『毎日新聞』10月16日[『憲法改正に関する諸論輯録』(貴族院事務局調査部、1946年)収録]

内府中心は不当 政府は統合せよ[「憲法改正案の責任者は誰か」]『[大阪]毎日新聞』10月16日

憲法改正について『毎日新聞』10月19日[『憲法改正に関する諸論輯録』(貴族院事務局調査部、1946年)収録]

憲法改正の必然性『[大阪]毎日新聞』10月22日

### 1946(昭和21)年

枢密院における議院法草案の審議『法学協会雑誌』64-1、1月1日[『日本憲政史の研究』収録]

民主体制の強力展開『毎日新聞』1月1、3、4、6～9日(日本民主体制の強力展開『[大阪]毎日新聞』1月1、3、4、6～8日)座談会：安倍能成、水谷長三郎、志賀義雄、室伏高信、美濃部亮吉、横田喜三郎]

天皇制と機関説自から別問題[談]『東京新聞』1月28日[『憲法改正に関する諸論輯録』(貴族院事務局調査部、1946年)収録]

政治と金『新生活』2-2、2月1日[『銀杏の窓』、『宮沢俊義随筆集』収録]

民主政治の前進と天皇制『時局情報』10-2、2月1日[座談会：新井達夫、阿倍真之助、美濃部亮吉、宮本顕治]

憲法改正について『改造』27-3、3月1日[『憲法改正に関する諸論輯録』(貴族院事務局調査部、1946年)、『憲法と天皇』収録、『戦争の放棄』<文献選集日本国憲法3>(三省堂、1977年)抄録]

議会制度の民主化『中央公論』61-3、3月1日[『日本憲政史の研究』収録]

徹底せる平和主義 新日本の大憲章成る[談]『毎日新聞』3月7日

総選挙こそ人民投票 戦争放棄宣言は当然[「新憲法政府案への論議 民間の批判」談]『[大阪]毎日新聞』3月8日

民主政治と総選挙[3月5日放送「今後の総選挙について」再録]『放送』6-3、4月1日

神の政治から民の政治へ『女性新聞』3、4月10日

“保守的”もまた民意、真の民主は十年計画[「民主議会は果たして生れるか」談]『朝日新聞』4月13日

国権の最高機関 議院政府主義を採用[「新憲法の焦点 国会」]『毎日新聞』4月20日[『[大阪]毎日新聞』4月21日][『憲法改正に関する諸論輯録』(貴族院事務局調査部、1946年)収録]

吉野先生とその民主政治論『新生』2-5、5月1日

八月革命と国民主権主義『世界文化』1-4、5月1日[初出に若干の修正のうえほぼ全文が、「日本国憲法誕生の法理」(『日本国憲法』別冊付録(日本評論社、1955年)に収録]

婦人問題と婦人代議士『女性改造』1-1、6月1日[『銀杏の窓』収録]

民主政治について『通信協会雑誌』441、6月5日

観能デアイロオグ『幽玄』1-2、7月10日[『銀杏の窓』収録]

議会の憲法論議に寄す『東京新聞』7月22～28日[座談会：風早八十二、中村哲]

新憲法の文章『丁酉倫理』522、8月1日

『東京裁判』への関心『婦人朝日』1-7、8月1日

新憲法と主権[「人民評論」]『夕刊新大阪』8月22日

映画コンクール審査員座談会『キネマ旬報』6、9月1日[座談会：宮本百合子、石川達三、坂西志保、岩崎♪、河盛好藏、飯島正、土方興志、佐多稲子、志賀直哉]

終戦と映画『新人』26-6、9月1日

世界平和への道と婦人『婦人と政治』9月1日[『銀杏の窓』収録]

憲法といふもの『社会』1-1、9月15日

『卒塔婆』拝見『毎日新聞』9月16日

新憲法の概観『国家学会雑誌』60-10、10月1日[国家学会編『新憲法の研究』(有斐閣、1947年)、「日本国憲法の概観」と改題]『憲法と天皇』収録]

新憲法の解説『西日本新聞』10月8日

民主主義と憲法『信濃教育』718、10月10日

新憲法の講義『時事通信 時事解説版』295、296、10月29、30日

新憲法と国体『児童教育』36-3、11月1日

国体はかはずか『女性改造』1-5、11月1日[『銀杏の窓』収録]

新憲法とデモクラシー[10月11日講演要領筆記於日本教育会主催新憲法講座]『教育界』808、12月1日

憲法改正『国家学会雑誌』60-12、12月1日[国家学会編『新憲法の研究』(有斐閣、1947年)収録]

衆議院議員ノ議院候補タルベキ者ノ資格確認ニ関スル件[「法令解説 憲法篇」]『新法令の研究』1、12月10日

衆議院議員選挙法第百一条ノ三及第四百四条ノ規定ノ適用ニ関スル件[「法令解説 憲法篇」]『新法令の研究』1、12月10日

選挙運動ノ費用等ノ届出ニ関スル件[「法令解説 憲法篇」]『新法令の研究』1、12月10日

口語体の勅語と文語体の奉答文[『銀杏の窓』収録]

著作権の尊重[『銀杏の窓』収録]

婦人代議士[『銀杏の窓』収録]

心の制服[『銀杏の窓』収録]

やせがまん[『銀杏の窓』収録]

何が世論か[『銀杏の窓』収録]

左側通行の廃止? [『銀杏の窓』収録]

言論のフェアプレイ[『銀杏の窓』収録]

## 1947(昭和22)年

アメリカの独立宣言『少年読売』2-1、1月1日

憲法議會のことども『評論』9、1月1日[『憲法と天皇』収録]

改正憲法をめぐって『放送』7-1、1月1日[座談会：犬養健、芦田均、鈴木義男、霜山精一]

[「私の書齋」]『夕刊新大阪』1月4日

新憲法と天皇制—新憲法の諸問題(その一)—『法律タイムズ』1-1、2月1日[『「天皇制」論集 第2輯』(三一書房、1976年)、「日本国憲法と天皇制」と改題『憲法と天皇』収録]

新皇室典範について—新憲法の諸問題(その二)—『法律タイムズ』1-2、3月1日[「皇室典範について」と改題『憲法と天皇』収録]

新生日本の門出—総選挙と婦人—『婦人と政治』2-1、4月1日

新憲法と国政の運用『改造』28-5、5月1日[座談会：末広巖太郎、我妻栄、向坂逸郎、鈴木安蔵]

新憲法と国民生活『教育と社会』2-5、5月15日[座談会：東畑精一、我妻碧、寺中作雄、山室民子]

ダンスと男女同権『帝国大学新聞』1029、6月5日

日本映画の低さについて『女性改造』2-5、7月1日[「日本映画はなぜおもしろくないか」と改題、『銀杏の窓』収録]

裁判所の法令審査権—新憲法の諸問題(その三)—『法律タイムズ』1-4、7月1日[『平和と人権』収録]

狂信との戦い『毎日新聞』7月18日

このごろの映画『アメリカ映画』7、7月20日[『銀杏の窓』収録]  
大臣『文芸春秋』25-7、8月1日[『銀杏の窓』収録]  
「戦争と平和」を見て『潮流』2-7、8月1日[『銀杏の窓』収録]  
皇室典範と皇室経済法[「新憲法関係法令の解説」]『国家学会雑誌』61-3、9月1日  
家破れて氏あり『法律タイムズ』1-6・7、9月1日[『銀杏の窓』収録]  
漱石の商標[「説苑」]『第一新聞』9月6日  
たてになった銀河[「説苑」]『第一新聞』9月23日[『右往左往』収録]  
政治は民主化したか?『VAN』2-15、10月1日[「民主化の測定」と改題、『銀杏の窓』収録]  
佐藤功著『憲法改正の経過』[「新刊書評」]『法律時報』19-11、10月1日  
姦通と商標と著作権『丁酉倫理』534、11月1日  
国憲を重んじ国法にしたがう心[「説苑」]『第一新聞』11月4日  
とうとう出た「忠臣蔵」『東京大学新聞』1050、11月27日  
党議拘束主義[「説苑」]『第一新聞』12月4日  
三くだり半の辞表『サンデー毎日』26-53、12月21日[『右往左往』収録]  
男女同権の練習問題[「説苑」]『第一新聞』12月25日  
カラス事件[『銀杏の窓』、『宮沢俊義随筆集』収録]  
予言と信者[『銀杏の窓』収録]  
バック夫人の「アジアの友へ」[『銀杏の窓』収録]  
日本式ロオマ字と国家主義[『銀杏の窓』収録]

## 1948(昭和23)年

新しい倫理と貞操観『女性改造』3-1、1月1日[『神々の復活』、『末川博・南原繁・宮沢俊義集』収録]  
[「平和のために何をなすべきか何をなしつつあるか」]『婦人之友』42-1、1月1日  
東京裁判[「説苑」]『第一新聞』1月4日  
人民の政治とは ガヴァアメント・オブ・ザ・ピープルの解釈『東京新聞』1月25、26日[『社会の動き』  
3-3、3月15日に転載]  
憂き世風呂『東京タイムズ』1月26日  
美濃部達吉著米國憲法概論[「紹介と批評」]『アメリカ研究』3-1・2、2月1日  
木戸日記をめぐって『評論』18、2月1日[座談会：岩淵辰雄、横田喜三郎、佐野増彦]  
再び党議拘束主義について[「説苑」]『第一新聞』2月4日  
不死鳥と一高生[「説苑」]『第一新聞』2月14日  
政治家の良識で連合して多数党結べ[「首班指名の原則 憲法学者に聴く」]『毎日新聞』2月20日  
芦田内閣と憲政の常道[「説苑」]『第一新聞』2月24日



- 新憲法と判例研究の意義[「論説」]『判例タイムズ』1、4月1日[「日本国憲法と判例研究の意義」と改題、  
『平和と人権』収録]
- 自由のための努力「自由人権の日」を迎えるに当りて『毎日新聞』4月21日
- 年号について[「説苑」]『第一新聞』4月22日
- あたらしい憲法『学友六年生』3-5、5月1日
- 教授のゆううつ『朝日新聞』5月3日[『社会の動き』3-6、6月1日に転載。『右往左往』、『宮沢俊義随  
筆集』収録]
- 新憲法と教授のゆううつ『[大阪朝日新聞]』5月3日
- 新憲法下の一年『第一新聞』5月3日[座談会：今中次麿、河村又介、木下半治]
- 憲法第二年目へ『岐阜タイムズ』5月4、5日[座談会：今中次麿、河村又介、木下半治]
- 管弦楽団とオペラの公営『東京大学新聞』1072、5月6日
- しじま公園(音の追放)[「説苑」]『第一新聞』5月22日[『右往左往』、『宮沢俊義随筆集』収録]
- 国民主権と天皇制についてのおぼえがき 尾高教授の理論をめぐって『国家学会雑誌』62-6、6月1  
日[『国民主権と天皇制』、『憲法の原理』収録]
- 産院事件あれこれ『女性』3-6、6月1日
- 男性は歌う または、女性は仕える『時論』3-6、6月1日[『右往左往』収録]
- わが師美濃部達吉先生「巨人」[「回想の美濃部博士」]『日本読書新聞』444、6月2日
- しじま公園—音のない世界への夢—『夕刊京都』6月3日
- 手紙の著作権[「説苑」]『第一新聞』6月6日
- 美濃部先生の業績[「特輯 美濃部先生の追憶」]『国家学会雑誌』62-7、7月1日[『日本憲政史の研究』収  
録]
- 追放指定通知の効力はいつ発生する—「選挙の結果に異同をおよぼすおそれがある場合」の意味[「最高裁  
判所行政判例の評釈」]『判例タイムズ』2、7月1日
- 美濃部達吉先生のおもい出『評論』23、7月1日[『憲法と天皇』、『末川博・南原繁・宮沢俊義集』収録]
- 政界泥試合の効能[「日曜時評」]『読売新聞』7月4日
- 主婦の解放[「説苑」]『第一新聞』7月5日
- 天皇退位論『社会』3-8、8月1日[『憲法と天皇』、『「天皇制」論集 第2輯』(三一書房、1976年)収録]
- 時事雑話『社会思潮』2-8、8月1日
- 守られない法律『女性改造』3-8、8月1日[『神々の復活』収録]
- 映画・オペラ・能・茶そして又映画[「緑蔭閑談」]『女性線』3-8、8月1日[辰野隆との対談]
- 能のゆくえ『能』2-8、8月1日[「大臣柱」と改題、『神々の復活』収録]
- 世論の曲線『PHP』2-7、8月1日[鼎談：阿部真之助、辰野隆]
- 機関説事件と美濃部達吉先生『法律時報』20-8、8月1日[『憲法と天皇』収録]
- 地震の予知と科学的精神[「説苑」]『第一新聞』8月2日

憲法改正の可否をきく『西日本新聞』8月6～8日[座談会：入江俊郎、岩淵辰雄、金森徳次郎、浅井清]  
日本文化のゆくえ『朝日新聞』8月15日[『右往左往』、『宮沢俊義随筆集』収録]  
美濃部博士と「選挙法詳説」『書評』3-9、9月1日  
結婚市場『光』4-9、9月1日[『右往左往』収録]  
暴力団の追放[「説苑」]『第一新聞』9月4日  
天皇退位と憲法改正『中部日本新聞』9月6、7日[座談会：金森徳次郎、浅井清、入江俊郎、岩淵辰雄、山浦貫一]  
平和の可能性『玄想』18、10月1日  
民主主義に反するもの『耕人』3-4、10月1日  
「人民の政治」について『倫理』543、10月1日  
郵便協力[「説苑」]『第一新聞』10月3日  
選挙と棄権[「学芸」]『毎日新聞』10月3日  
政変来[「説苑」]『第一新聞』10月10日  
政治家にのぞむ『夕刊北海タイムス』10月19～21日[座談会：新居格、坂西志保]  
政変あれこれ『東京新聞』10月24、25日  
本庄事件[「説苑」]『第一新聞』11月3日  
解散の憲法的意味『朝日新聞』11月8日  
解散論[「説苑」]『第一新聞』11月17日  
二段の手続は無意味[「首班指名の性格」]『読売新聞』11月27日  
政治資金規正法[「新憲法関係法令の解説」]『国家学会雑誌』62-12、12月1日[『憲法論集』収録]  
日本法学の回顧と展望『法律時報』20-12、12月1日[座談会：石本雅男、磯田進、鶴飼信成、戒能通孝、川島武宜、辻清明、平野義太郎、穂積重遠、牧野英一、我妻栄、末弘巖太郎。『日本の法学』(日本評論社、1950年)収録]  
暴力追放『女性改造』3-12、12月1日  
国会議員の逮捕の許諾について[「説苑」]『第一新聞』12月10日  
いわゆる洋楽の超民族性[「説苑」]『第一新聞』12月27日

## 1949(昭和24)年

アメリカ的健康『映画世界』2-1、1月1日  
総選挙雑感『自治研究』25-1、1月10日  
観能雑感『能』3-1、1月1日  
憲法のうごき『朝日評論』4-2、2月1日[「憲政の常道そのほか」と改題、『政治と憲法 憲法二十年 下』収録]  
総選挙をかえりみて[「説苑」]『第一新聞』2月1日

- 議院の国政調査権と司法権の独立『法律時報』21-3、3月1日[『政治と憲法』収録]
- 無権利者の投票についても、「父」の搜索は許さない—無権理者が投票したために当選の結果に異動を生ずる場合の争訟は当選争訟である[「最高裁判所行政判例の評釈」]『判例タイムズ』5、3月20日
- 文明と便所『美しい暮らしの手帖』3、4月1日
- 教育者への言葉『教育女性』1-1、4月1日
- 婦人雑誌を衝く『日本評論』24-4、4月1日[座談会：土岐善磨、鶴見和子、高臨渡]
- 動物の生存権『文芸春秋』27-5、5月1日[『右往左往』、『末川博・南原繁・宮沢俊義集』収録]
- 憲法のうごき『法律のひろば』2-5、5月1日[「総理大臣の指名」と改題、『政治と憲法』収録]
- 随想・『主権者』国民—国民自身は案外まだぼんやりしている—[「憲法記念日によせる」]『日本読書新聞』489、5月3日
- 憲法二周年と暴力追放『夕刊中外』5月4日
- 失われた男[「映画評」]『日本経済新聞』5月16日
- フランス第四共和制憲法について『季刊法律学』6、5月25日[『憲法と政治制度』収録]
- 産児制限の可否[「日曜随想」]『西日本新聞』5月29日
- 娯楽放送について『女性改造』4-6、6月1日[座談会：阿部真之助、平林たい子]
- 暴力団『地上』3-6、6月1日
- 放送放談[「文化」]『西日本新聞』6月12日
- 美しい水車小屋の娘[「名曲の話」]『少年少女』2-7、7月1日
- 第五国会に拾う『女性改造』4-7、7月1日
- いいわけする著者[「読書随筆」]『書評』4-7、7月1日[『右往左往』収録]
- 人権の感覚『評論』34、7月1日[『右往左往』、『平和と人権』、『末川博・南原繁・宮沢俊義集』収録]
- 非合法時代[「文化随筆」]『夕刊北海タイムズ』7月15日
- 憲法改正論について[巻頭言]『法律タイムズ』3-4、7月20日
- 合法性と正当性—暴力について『朝日新聞』7月24日[『上毛警友』4-9、9月10日に転載]
- 恐るべき親達[「映画評」]『日本経済新聞』7月25日
- 歌謡曲の流行[「風俗ハイライト」]『婦人公論』33-8、8月1日
- 四年間『毎日新聞』8月16日
- 警察・公安委員会・内閣『改造』30-9、9月1日[『政治と憲法』収録]
- 明治憲法の成立とその国際政治的背景『法曹時報』1-7、9月1日[『日本憲政史の研究』収録]
- 法の欠陥と法の解釈『地方自治』21、9月5日
- 合法性と正統性—暴力について『上毛警友』4-9、9月10日
- 放談社会時評『読売評論』1-1、10月1日[座談会：辰野隆、内田百閒]
- 新聞の自由について『潮流』4-11、11月1日

カブキのゆくえ『展望』47、11月1日  
汚名[「映画評」]『日本経済新聞』11月7日  
創刊のことば『公法研究』1、11月20日  
昭和二三年政令二〇一号事件[「違憲問題に関する研究」]『公法研究』1、11月20日[『憲法論集』収録]  
フランス共和国憲法(一九四六年)[「戦後の世界新憲法の概観」]『国家学会雑誌』63-7・8・9、12月1日  
イタリヤ共和国憲法(一九四七年)[「戦後の世界新憲法の概観」]『国家学会雑誌』63-7・8・9、12月1日  
ノモスの主権とソフィスト—ふたたび尾高教授の理論をめぐって—『国家学会雑誌』63-10・11・12、  
12月1日[『国民主権と天皇制』、『憲法の原理』、『国民主権と天皇制』<文献選集日本国憲法2>(三省堂、1977年)収録]  
公法国際学会および政治学・憲法史国際学会の近況[「学界消息」]『国家学会雑誌』63-10・11・12、12  
月1日  
歪められた政治史[「特集 二十世紀五十年の歩み」]『新女苑』13-12、12月1日  
新聞の読み方『婦人公論』33-12、12月1日  
巷を裁く『漫画』17-12、12月1日[鼎談：田邊繁子、松尾邦之助]  
[「あなたは「聖書」を読まれたか—聖書による影響について—」]『読売評論』1-3、12月1日  
親分子分[『右往左往』、『宮沢俊義随想集』収録]  
人類はどこへ行く[『右往左往』、『末川博・南原繁・宮沢俊義集』、『宮沢俊義随想集』収録]  
フルトヴェングラアとギイゼギング[『右往左往』収録]

## 1950(昭和25)年

憲法の生態 議員の国会召集要求権と議院の国政調査権『法律のひろば』3-1、1月1日[『政治と憲法』  
収録]  
当世書生氣質『漫画』18-1、1月1日[『神々の復活』収録]  
王冠のゆくえ 君主制の運命『読売評論』2-1、1月1日[『神々の復活』収録]  
衆議院議員選挙法一一二条一項一号の金銭供与罪の成立『判例研究』2-4、1月15日[共同執筆：小嶋和  
司]  
選挙演説妨害罪の成立『判例研究』2-4、1月15日[共同執筆：小嶋和司]  
アプレゲールの可能性 女学生社長と青春を語る『女性改造』5-2、2月1日[鼎談：高岡町子、中山義秀]  
政治と音楽 ナチ協力者として排斥された音楽家たち『評論』40、2月1日  
講和の法理『法律時報』22-2、2月1日[座談会：入江啓四郎、平野義太郎、横田喜三郎]  
代読[「食後漫筆」]『西日本新聞[夕刊]』2月28日[『右往左往』]  
ある対話[「コミンフォルムと日本共産党」]『展望』51、3月1日  
法のうごき世のうごき『法律タイムズ』4-3、3月10日【一 妾殺し、二 国鉄スワロウズ、三 法律和文英  
訳】

- 田園交響楽[「映画評」]『日本経済新聞』4月22日
- 西洋人の意見『能』4・5、5月1日
- 憲法記念日を迎えて『婦人公論』34・5、5月1日[『憲法と天皇』収録]
- 参議院をどう思う『読売新聞』5月1日[座談会：蟬山政道、長谷川如是閑、鈴木安蔵]
- 法のうごき世のうごき『法律タイムズ』4・4、5月5日【四 最高裁判所長官、五 現行法における元号、六 元号制を存続させるべきか、七 元号を廃止したらどうなるか】[六・七を「元号について」と題して『憲法と天皇』収録]
- 参議院と選挙人の態度『毎日新聞』5月10日
- 民主的な人間[5月3日講演於大阪朝日会館]『講演時報』621、5月15日
- フランス共和国憲法(一九四六年)[戦後の世界新憲法の概観]『公法研究』2、5月20日
- イタリア共和国憲法(一九四七年)[戦後の世界新憲法の概観]『公法研究』2、5月20日
- 参議院と私たちの態度 宮沢俊義氏にきく『女性新聞』138、5月21日[聞き手：今村昌子、佐藤直子]
- 法のうごき世のうごき『法律タイムズ』4・5、6月5日【八 法律制定に関する衆議院の優越、九 党か人か】
- 公務員のあり方『講演時報』624、6月15日[座談会：岩淵辰雄、原安三郎]
- 参議院の性格『中央公論』65・7、7月1日[『政治と憲法』収録]
- 法のうごき世のうごき『法律タイムズ』4・6、7月5日【十 対面交通はどうなったか、十一 文盲者の代理投票、十二 都道府県の名のならべ方、十三 メートル法と尺貫法】
- 民主的な態度とは『旭の友』49、8月1日[『神々の復活』、『末川博・南原繁・宮沢俊義集』収録]
- 暑い書齋から『Books』6、8月5日
- 法のうごき世のうごき [「十四 いわゆる誤判事件」「十五 最高裁判所裁判官会議の決定」「十六 事件は懲戒手続で処理すべきものであるか」「十七 民主政治における責任」「十八 事件のむすび」]『法律タイムズ』4・7、8月5日[「誤判事件」と改題『平和と人権』収録]
- ボヴァリイ夫人[「映画評」]『日本経済新聞』8月12日
- 新しい諸憲法の国際的傾向[翻訳]『国家学会雑誌』64・7・8・9、9月1日
- 小説に読まれる[「わが文学談」]『文学界』[復刊]4・9、9月1日[『神々の復活』収録]
- 法のうごき世のうごき『法律タイムズ』4・8、9月5日【十九 学級裁判、二十 チャタレイ夫人】
- 人権感覚について『東京新聞』9月24、25日
- 戦争放棄・義勇兵・警察予備隊『改造』31・10、10月1日[『平和と人権』収録]
- 本税賦課の取消と付加税の効力『判例研究』2・5、10月1日[共同執筆：小嶋和司]
- 新聞の競争根性[「中外漫筆」]『夕刊中外』10月2日
- 民主国家と新聞[「論壇」]『伊勢新聞』10月5日
- 清宮四郎「権力分立制の研究」[「紹介」]『公法研究』3、10月30日[『憲法論集』収録]
- 広場問答『漫画』18・9、11月1日

「天皇機関説」あれこれー右翼暴力時代ー『読売評論』2-11、11月1日[「天皇機関説事件」と改題、『神々の復活』、『日本憲政史の研究』収録]

主権者たる自覚[「発刊によせて」]『時の法令解説』1、11月3日

『君が代』対話[「随想」]『朝日新聞』11月29日[『右往左往』、『宮沢俊義随想集』収録]

町村制一五条三項に規定する被選挙権なき者の解釈『判例研究』2-6、12月1日[共同執筆：小嶋和司]

調査表に事実をかくした記載があると、覚書非該当確認書は当然無効になるかー当選訴訟の口頭弁論と検察官の立会『判例研究』2-6、12月1日

アメリカヨーロッパの法学界の近況『法律時報』22-12、12月1日[座談会：我妻栄、江川英文、末延三次]

荒波にただよう大和島根[『右往左往』収録]

裕子の場合[『右往左往』収録]

個人の尊厳ということ[『神々の復活』収録]

## 1951(昭和26)年

能を楽しませる本『観世』18-1、1月1日

国の象徴のはなし『研修月報』31、1月1日

日本の新憲法解説[「資料」]『国家学会雑誌』65-1、1月1日[連合国最高司令部民政局(SCAP)作成文書「The new constitution of Japan」(『Political Reorientation of Japan, September 1945 from September 1948』)の解説]

大戦か平和か『日本週報』168、1月1日[座談会：小谷正雄、高田市太郎]

平和問答[「大阪」毎日新聞]1月1日(『毎日新聞』1月9日)[『右往左往』、『末川博・南原繁・宮沢俊義集』収録]

右往左往『時の法令解説』8、1月3日[『右往左往』、『宮沢俊義随筆集』収録]

再軍備問題と憲法改正『西日本新聞』1月3日

議院内閣制のイギリス型とフランス型ー比較法的考察『比較法雑誌』1-1、1月15日[『憲法と政治制度』収録]

[記事「学術会議選挙」中の談]『読売新聞』1951年1月18日

憲法改正と再軍備問題『中部日本新聞』1月19日

酒のみ方『東京だより』19、2月1日[『神々の復活』、『宮沢俊義随筆集』収録]

学校と道徳教育 修身科について『信濃教育』770、2月1日[『「修身科」復活と「国民実践要領」論争』<文献資料集成 日本道徳教育論争史 第3期戦後道徳教育の停滞と再生 第11巻>(日本図書センター、2015年)収録]

不正確に記載した投票の効力ー姓又は名のみを記載した投票の効力『判例研究』2-7、2月25日[共同執筆：芦部信喜]

大政翼賛会の町村支部理事たりしことを資格審査表に書かなければ罰せられるべきか『判例研究』2-7、2月25日[共同執筆：小嶋和司]

- ほんとうの民主主義[「少年諸君へおくることば」]『少年クラブ』38-4、3月1日
- 検事の身分保障 木内問題を法律的に解釈『読売新聞』3月5日
- NHK 問答『朝日新聞』3月13日
- 民主制の世界観—相対主義について—『世界』64、4月1日[『平和と人権』収録]
- 子供ノ名前ニ使ウ漢字『カナノヒカリ』347、4月5日[「子供の名前に使う漢字」(『毎日新聞』4月19日)から]
- 地方選挙の意味『自治研究』27-4、4月10日
- 地方選挙と新聞—旧憲法下と違う意味を知らせたい—『新聞協会報』718、4月12日
- 幣原喜重郎著外交五十年 幣原外交の本領『日本読書新聞』589、4月18日
- 子供の名前に使う漢字『毎日新聞』4月19日
- 人事院の将来 山下人事官の手紙について『公務員』7-5、5月1日
- 憲法第九条あれこれ問答『日本評論』26-5、5月1日[「憲法第九条問答」と改題、『右往左往』収録]
- 殺人流行の世相—いのちの価値—『婦人公論』35-5、5月1日[「いのちの価値」と改題、『平和と人権』収録]
- 再軍備論争と学会会議『読売評論』3-5、5月1日
- 四周年を迎えて われわれの憲法に民主主義の認識を深めよ『読売新聞』5月3日
- \*憲法の口語化『中部日本新聞』5月4日[朝刊は掲載なし。夕刊は未見。新聞切抜は宮沢文庫所蔵]
- 国家公務員法の再検討『人事行政』2-6、6月1日[討論会：浅井清、金森徳次郎、田中二郎、松井一郎、岡部史郎、佐藤達夫、入江俊郎]
- リンカンのことば[巻頭言]『中学時代』3-4、7月1日
- 自衛と憲法改正の焦点[「特集講和後の国内変革」]『学苑』12-8、8月1日
- 踊る大紐育[「映画評」]『日本経済新聞』8月19日
- 有力な財政的援助(昭和二二年政令第三二八号付則第三項)とは何を意味するか—議院における偽証罪は議院の告発を起訴条件とするか『判例研究』3-2、8月20日
- アメリカ法入門(II)憲法[「良書推薦」]『Books』18、9月5日
- 六法全書『図書』25、10月5日[『神々の復活』収録]
- 新憲法—うらとおもて—『政治経済論叢』2-3、10月10日
- 憲法[「特輯 戦後立法の発展」]『季刊法律学』11、10月30日[『憲法と天皇』収録]
- 科学的な見方を教えられて[「足跡をかえりみて—先輩・同僚・後輩の見た末弘博士の人間像—」]『法律時報』23-11、11月1日
- 「法学辞典」について[「新刊紹介」]『日本経済新聞』11月19日

## 1952(昭和 27)年

- 解散の法理『ジュリスト』1、1月1日[『憲法と政治制度』収録]

ボツダム命令よどこへ行く『ジュリスト』1、1月1日[研究会：佐藤達夫、林修二、我妻栄、鈴木武雄、石井照久、高辻正巳、西村健次郎、田中二郎、兼子一]

マーク・ゲイン著「ニッポン日記」[「書評」]『中央公論』67-1、1月1日

「ジープの四人」[「映画評」]『日本経済新聞』1月7日

治安立法を疑う『ジュリスト』2、1月15日[座談会：中川善之助、木村亀二、清宮四郎、田中二郎、兼子一]

求塚拝見『観世』19-2、2月1日

電話[「茶の間」]『毎日新聞[夕刊]』2月1日

選挙粛正ののろし『読売新聞』2月11、12日[座談会：三輪寿壮、清瀬一郎、牧野良三]

「お言葉」の責任[「アラベスク」]『ジュリスト』4、2月15日[『ジュリスト』634、1977年3月26日再録]

衆議院議員選挙法一一二条一項四号の金銭供与罪の成立『判例研究』3-3、2月15日[共同執筆：芦部信喜]

ぬき足さし足再軍備[巻頭言]『ジュリスト』5、3月1日[『ジュリスト』634、1977年3月26日再録]

行政機構改革に注目せよ『ジュリスト』5、3月1日[座談会：牧野良三、大内兵衛、我妻栄、蠟山政道、田中二郎]

禁止されるが当然[「自衛戦力は持てる首相憲法第九条で言明」中の談]『読売新聞』3月7日

憲法違反の提訴『朝日新聞』3月10日

文官[「ジュリスト手帖」]『ジュリスト』7、4月1日[『ジュリスト』634、1977年3月26日再録]

憲法改正と再軍備『ジュリスト』7、4月1日[研究会：我妻栄、田中二郎、兼子一、石井照久、団藤重光]

村選挙管理委員会の村役場事務局に対する選挙事務の一任と選挙の効力—不在者投票の取扱と秘密保持の欠陥—投票録の不存在と選挙の効力『判例研究』3-4、4月30日[共同執筆：芦部信喜]

憲法改正と再軍備[「特集 平和憲法は犯されたか否か」]『世界』77、5月1日[『平和と人権』収録]

憲法はどこへ行く『婦人公論』36-5、5月1日

生々しい描写「風とともに去りぬ」[「映画評」]『日本経済新聞』8月31日

少しでもよい候補者を『朝日新聞』9月9日

国法と政党『法政』1-5、9月25日

解散権論争 国会は誰の手によって解散さるべきか?『改造』33-14、10月1日[座談会：山川均、鈴木安蔵、河村又介]

読書と趣味[文責在記者]『国民』613、10月1日

わが最高裁判所を検討する『法律時報』24-10、10月1日[座談会：我妻栄、河村又介、兼子一、真野毅、金森徳次郎、海野晋吉、坂野千里]

首班指名と政党 “吉田” “鳩山” の議場決選は自殺行為『朝日新聞』10月10日

憲法は改正すべきか否か『日本週報』225、10月15日[座談会：牧野英一、金森徳次郎、高柳賢三]



戒能通孝著法律講話 独特の法思想史 “民主主義をまもる決戦的著書” 『日本読書新聞』 666、10 月 20 日

現代フランスの公法学について[「展望」] 『公法研究』 7、10 月 30 日

万国学士院連合第二十六回総会報告[「彙報」] 『日本学士院紀要』 10-3、11 月 12 日

第七条で解散結構[「特集 8 月解散は違憲か」] 『時事通信 時事解説版』 2113、11 月 19 日

ある教訓[「危険な時代の不安な国民」] 『北海道新聞』 11 月 23 日

旅券のローマ字[「茶の間」] 『毎日新聞[夕刊]』 11 月 26 日 [『神々の復活』、『宮沢俊義随筆集』収録]

マスコミュニケーションの倫理規程について 『ジュリスト』 23、12 月 1 日

番茶クラブ物語 『文芸春秋』 30-17、12 月 1 日

能の復興について [『神々の復活』収録]

恐妻主義 [『神々の復活』、『宮沢俊義随筆集』収録]

帽子 [『神々の復活』、『宮沢俊義随筆集』収録]

人間虐待道路 [『神々の復活』、『宮沢俊義随筆集』収録]

談話料 [『神々の復活』、『宮沢俊義随筆集』収録]

左書きの統一 [『神々の復活』、『宮沢俊義随筆集』収録]

## 1953(昭和 28)年

年号[無署名巻頭言] 『ジュリスト』 25、1 月 1 日 [『神々の復活』、『宮沢俊義随筆集』収録]

憲法は改正すべきか否か 『中央公論』 68-1、1 月 1 日 [討論会：猪俣浩三、岩淵辰雄、海野晋吉、長谷川正安] [『憲法改正論』 <文献選集日本国憲法 13> (三省堂、1977 年)収録]

正月と自由[「随想」] 『西日本新聞[夕刊]』 1 月 6 日 [『神々の復活』、『宮沢俊義随筆集』収録]

憲法改正について 『自治研究』 29-1、1 月 10 日 [『憲法の原理』収録]

旅券というもの[無署名巻頭言] 『ジュリスト』 27、2 月 1 日 [『神々の復活』、『宮沢俊義随筆集』収録]

火野葦平著かっぱの皿[「一枚書評」] 『日本読書新聞』 681、2 月 7 日

平民的ということ[「時評」] 『西日本新聞[夕刊]』 2 月 20 日 [『神々の復活』収録]

公安委無力化に問題[「月曜評壇」] 『西日本新聞』 3 月 2 日

懲罰と政治責任[「論壇」] 『朝日新聞』 3 月 3 日

警察制度の改革 『中部日本新聞』 3 月 9 日

占領政策は行き過ぎだったか 『ジュリスト』 30、3 月 15 日 [座談会：我妻栄、鈴木武雄、田中二郎、兼子一、石井照久、団藤重光]

大した作者 河竹繁俊校訂 『黙阿弥名作選』 『日本読書新聞』 686、3 月 16 日

政党の建直し 『西日本新聞』 3 月 24 日

学問日本の国際相場[「日本の株価」] 『改造』 34-5、3 月 25 日

政党のたて直しー総選挙を迎えてー『北海道新聞』3月25日

チャップリンについて『ライムライト』と『殺人狂時代』『婦人公論』37-4、4月1日

法学教育の理想ーかく教えたい、かく学んでもらいたいー『法律時報』25-4、4月1日[座談会：我妻栄、  
団藤重光、菊井維大、外岡茂十郎、峯村光郎、戒能通孝]

衆参両院二つの選挙 その性格とはたらき『毎日新聞』4月9～11日

木村亀二著断頭台の運命 独得の博識『図書新聞』190、4月11日

自由意思に基づいて[公明選挙講演会講演要旨]『読売新聞』4月19日

政局のゆくえ 堂々と真正面から話合え[「論壇」]『朝日新聞』5月7日

洋行は音楽と絵好きを作る一言葉が判らなくても、あなたは国際人になれるー『旅』27-6、6月1日[『神々の復活』収録]

美濃部達吉先生と機関説事件[「日本の法律学を築いた人々」]『書斎の窓』1、6月10日[『書斎の窓』269、  
1977年11月1日に再掲載]

ヤミの役割『判例時報』7月1日

映画は愉し『婦人公論』37-8、7月1日[座談会：脇村義太郎、有沢広巳]

ある人の手紙 見所のヤパン人について『宝生』2-7、7月1日[『神々の復活』収録]

ベルリン時代の矢崎君『図書』46、7月5日

増額の限度が問題 財源があれば認められる[談]『毎日新聞[夕刊]』7月19日

就職選考と学業 推薦の時期は遅く『日本経済新聞』7月20日[『神々の復活』収録]

暴行兵士[「中日評論」]『中部日本新聞』7月26日

天皇[「常識講話」]『ジュリスト』41、9月1日[『憲法と天皇』、『「天皇制」論集 第2輯』(三一書房、1976  
年)収録]

大学の今昔話[「中野好夫対談集 話の広場」]『サンデー毎日』32-43、9月20日[対談：中野好夫]

政令第三二五号事件の最高裁大法廷判決について『ジュリスト』43、10月1日[研究会：我妻栄、兼子  
一、平野龍一、伊藤正巳、雄川一郎]

憲法を守るとはどんなことか『世界』94、10月1日[座談会：鶴飼信成、中野好夫]

“情報機関”反対は当然[談]『読売新聞』10月2日

政局の安定化[「中日評論」]『中部日本新聞』10月11日

政局の安定化『西日本新聞』10月11日

政治学憲法史国際学会について[「国際学会事情」]『公法研究』9、10月30日

解散無効判決の含む問題『ジュリスト』46、11月15日[座談会：佐藤功、中村哲、兼子一]

戦力でない軍隊[「中日評論」]『中部日本新聞』11月29日

最早疑えぬ存在に 実情を離れた戦力問答[「月曜評壇」]『西日本新聞』11月30日

生じた空洞[「野口兼資師の死を悼む」]『宝生』2-12、12月1日

Les types anglais et français du régime parlementaire『The Japan annual of law and politics』2、

12月10日

秋風の音[『神々の復活』、『宮沢俊義随筆集』収録]

悪臭からの自由[『神々の復活』、『宮沢俊義随筆集』収録]

## 1954(昭和29)年

神々の運命と憲法『法律時報』26-1、1月1日[『憲法と天皇』収録]

法律時報の廿五年『法律時報』26-1、1月1日[座談会：我妻栄、牧野英一、鶴飼信成、戒能通孝、彦坂竹男、桑江常善]

自衛隊と憲法『読売新聞』1月4、5日[「自衛力増強と憲法」]『[大阪]読売新聞』1月5、6日。12月18日座談会：野村吉三郎、石橋湛山、黒田寿男]

再軍備と憲法改正 ことしの二つの課題『東京タイムズ』1月5日[座談会：芦田均、稲葉秀三]

選挙法における住所について『自治研究』30-1、1月10日[『憲法と政治制度』収録]

生長する戦力『信濃毎日新聞』1月11日

行政改革の盲点『中部日本新聞』1月27日

取越苦勞『観世』21-2、2月1日[『神々の復活』収録]

整理後の保障が必要 毎年ウヤムヤの行政改革[「月曜評壇」]『西日本新聞』2月1日

神々の復活『文芸春秋』32-2、2月1日[『神々の復活』、『憲法と天皇』、『末川博・南原繁・宮沢俊義集』収録]

『日本憲法の分析』を読んで[「『日本憲法の分析』」]『中部日本新聞』2月27日

期限付逮捕許諾は是か否か『ジュリスト』54、3月15日[座談会：団藤重光、佐藤功、平野龍一]

議会政治はこれでよいか[「中日評論」]『中部日本新聞』3月15日

法より道義的責任 汚職議会はこれでよいか[「月曜評壇」]『西日本新聞』3月15日

コーヒー入り角砂糖[「茶の間」]『毎日新聞[夕刊]』3月27日

現行憲法の盲点『改造』35-4、4月1日[『憲法と天皇』収録]

映画のたのしみ『映画の友』22-4、4月5日[座談会：飯島正、南俊子][飯島正『映画のたのしみ』(白水社、1955年)収録]

真剣な平和希求[「平和憲法についてのアンケート」]『平和』24、5月1日

七たび憲法記念日を迎えて—法には理念性と実定性とがある—『時の法令』132、5月3日[『政治と憲法』収録]

憲法改正と家族制度[「中日評論」]『中部日本新聞』5月17日[『神々の復活』収録]

家族制度も改正か 憲法第二四条を再検討[「月曜評壇」]『西日本新聞』5月17日

胸苦しい貧乏論争[「わが青春期」]『東京新聞』5月18日[亀井勝一郎編『わが青春期』(三笠書房、1955年)、「わが青春記」と改題]『神々の復活』、『末川博・南原繁・宮沢俊義集』、『宮沢俊義随筆集』収録]

神社仏閣の存在価値 民主精神を蝕む[「宗教」]『西日本新聞』5月20日

検察官と世評『研修』72、6月1日[『神々の復活』収録]

カール・マルクス『文芸春秋』32-8、6月1日[「カール・マルクス」と改題、『神々の復活』、『宮沢俊義随筆集』収録]

サヴォワ公的性癖『図書』57、6月5日[『神々の復活』収録]

どうすればよいか—国会の権威のため—『[大阪]朝日新聞』6月8、9日[座談会：野村秀雄、蟬山政道]

解散して、民意に問え[「時局の根本的收拾を望む」]『信濃毎日新聞』6月13日

ばかばかしい話『法政』3-7、6月25日[対談：辰野隆]

現代の政治を語る『新聞論調』24、6月[6月27日NHK政治座談会：長谷川如是閑、有沢広己、亀井勝一郎]

観世会館拝見『観世』21-7、7月1日

延長国会をめぐる法律問題『ジュリスト』61、7月1日[座談会：鈴木武雄、田中二郎、兼子一]

反ファシズムの背景 清沢潤著暗黒日記[「戦中戦後の混迷の中で」]『日本読書新聞』753、7月5日

角砂糖と丸砂糖[「茶の間」]『毎日新聞[夕刊]』7月14日

君が代『ジュリスト』62、7月15日[『ジュリスト』634、1977年3月26日再録]

全ては国民の胸に[「憲法の番人はいるか」]『週刊朝日』59-30、7月18日[「憲法の番人」と改題、『神々の復活』収録]

汚職と国会議員の特典[「中日評論」]『中部日本新聞』8月9日

公務員にはどのような法律知識が要求されるか『ジュリスト』64、8月15日[座談会：大山正、佐藤達夫、鈴木俊一、田中二郎、岡部史郎、河野一之]

憲法改正の是非『再建』8-7、9月1日[『政治と憲法』収録]

証人喚問の申請 握りつぶし言語道断[談]『毎日新聞』9月9日[『新聞集成昭和編年史 昭和二十九年版V』(新聞資料出版、2006年)収録]

戦前と戦後『文庫』36、9月10日

新党工作と首相の外遊『中部日本新聞』9月27日

マッカアサア憲法草案解説『国家学会雑誌』68-1・2、9月30日[共同執筆：佐藤功]

造船疑獄と国政調査権『ジュリスト』67、10月1日[座談会：小野清一郎、田中二郎]

法律は悪用するな—暴力革命へ追ひ込む法律無視—『文芸春秋』32-17、11月1日[「悪用される法律論」と改題『神々の復活』収録、「法律論の効用とその乱用」と改題『政治と憲法』収録]

新党工作と国会議員の責任 総選挙で国民に信を問え[「中日評論」]『中部日本新聞』11月15日

最高裁判所の機構改革『ジュリスト』72、12月15日[座談会：我妻栄、鈴木武雄、田中二郎、兼子一、石井照久、団藤重光]

名刺[『神々の復活』、『宮沢俊義随筆集』収録]

オーバー[『神々の復活』、『宮沢俊義随筆集』収録]

病気見舞と葬式[『神々の復活』、『宮沢俊義随筆集』収録]

**1955(昭和 30)年**

憲法改正問題の考え方『ジュリスト』73、1月1日[『政治と憲法』、『憲法改正論』<文献選集日本国憲法13>(三省堂、1977年)収録]

憲法改正問題『ジュリスト』73、74、1月1、15日[座談会：我妻栄、鈴木武雄、田中二郎、兼子一、石井照久、団藤重光。『憲法改正』<ジュリスト選書>(有斐閣、1956年5月3日)収録]

\*憲法改正と世論『法律公論』29、1月1日

逆コースをもたらすもの『西日本新聞』1月7日

逆コースをもたらすもの[「宗教と文化」]『京都新聞』1月8日

選挙と民主主義[「選挙の話」]『朝日新聞』1月14日

過半数確保はムリ 連立政権を研究せよ[「月曜評壇」]『西日本新聞』1月17日

連立政権を研究せよ—多党分立状態での政党の道—[「中日評論」]『中部日本新聞』1月24日

私は棄権する[「茶の間」]『毎日新聞[夕刊]』2月13日

原水爆と人間の現在[2月24日ニッポン放送]『新聞論調』59、2月

旧軍人の台頭と文民 憲法解釈よりも世論の批判で[「中日評論」]『中部日本新聞』3月21日

旧軍人の台頭と文民『西日本新聞』3月22日

シヤトオブリヤンの議院制の理論『国家学会雑誌』68・7・8、3月30日

口語体の憲法『学会月報』659、4月1日

『文民』とは何を云うか『東京だより』69、4月1日[座談会：芦田均、織田信恒、松本学、金森徳次郎、牧野英一]

能楽修行論議『宝生』4・4、4月1日

文民の誕生『ジュリスト』80、4月15日

憲法記念日を迎えて『信濃毎日新聞』5月3日

アルザスの話『緑会雑誌』[復刊]1、5月29日

天皇の地位と価値 象徴と元首の焦点[「時の話題」]『法律公論』34、6月1日

対談 その道『週刊サンケイ』4・23、6月5日[対談：奥野信太郎]

ポツダム宣言の履行[記事「憲法 波紋投げる“清瀬理論” 両教授の見解」中の談]『朝日新聞』7月7日[『新聞集成昭和編年史 昭和三十年版IV 原水爆禁止世界大会』(新聞資料出版、2007年)収録]

国防会議について[6月25日ラジオ東京]『週間論調』75、7月7日

映画の将来とシネラマ[「随筆」]『映画芸術』94、8月1日

そのころの生活[「八月十五日を想う」]『世界』116、8月1日[「八月十五日を想う」と改題、『憲法と天皇』、『末川博・南原繁・宮沢俊義集』収録]

終戦は命の恩人[「その時国民は何をしていたか」]『本の本』102、8月1日

八・一五を迎えて[「学芸」]『神戸新聞』8月15日

終戦日の反省 責任の自覚を明確に 一方的対米非難は不当『西日本新聞』8月15日

蠟燭の火の明るいうちに—青春交遊雑記—『別冊文芸春秋』47、8月28日

## 1956(昭和31)年

最高裁判所は憲法裁判所の性格をも併せ有するか[「最高裁判所判例研究」]『法学協会雑誌』73-1、1月30日

憲法のゆくえ『ジュリスト』100、2月15日[『政治と憲法』収録]

選挙区論争 区割りの不公正を排除せよ『東京新聞』3月30日

福来家の居候『研修』94、4月1日[『宮沢俊義随筆集』収録]

地方公聴会の実相を探る『東京新聞』4月24～26日[座談会：松村記者、和田記者、宮村政治部長]

ミルキヌ・グツェヴィチ教授を悼む[「学界消息」]『公法研究』14、4月30日

憲法をどう考え教えるか 宮沢先生に聞く『教育技術社会科研究』1-2、5月1日

弁論術について『図書』80、5月5日

小選挙区制を論ず『ジュリスト』106、5月15日[座談会：鈴木俊一、鈴木義男、田中二郎、矢部貞治、蛭山政道]

「総合判例研究叢書」の刊行にあたって—編集代表の言葉—『書齋の窓』36、6月1日[小野清一郎、末川博、中川善之助、我妻栄との連名]

売春防止立法について『ジュリスト』108、6月15日[『平和と人権』収録]

民主国会の将来 “国会の暴力”について『東京だより』84、7月1日[座談会：芦田均、西尾末広]

沖縄軍用地問題『ジュリスト』112、8月15日[座談会：知念朝功、翁長助静、江川英文、高野雄一、加藤一郎]

「法律の留保」について『国家学会雑誌』70-8、8月30日[『憲法の原理』収録]

私のディスク[「随想」]『音楽之友』14-9、9月1日

そろわない羊の足なみ こんな「外交」があるか 迷惑するのは国民だけ『朝日新聞』9月3日

法学全集を語る『日本読書新聞』873、11月5日[座談会：田中二郎、我妻栄、鈴木竹雄]

\*故会員尾高朝雄君略歴[「彙報」]『日本学士院紀要』14-3[別刷]、11月12日

戦後法律学の進展(『法学全集』を語る)『Books』80、12月5日 [座談会:田中二郎、我妻栄、鈴木竹雄]

総裁公選に望む『朝日新聞』12月14日

(訂正) 総裁公選に望む『朝日新聞』12月15日

年間回顧 (一九五六年)『ジュリスト』120、12月15日

## 1957(昭和32)年

憲法の正当性ということ—憲法名文論『ジュリスト』121、1月1日[『憲法の原理』収録、同書から『新しい憲法のはなし 付載七篇』収録]

- 小六法昭和三十三年版について[我妻栄との共同執筆]『書齋の窓』43、2月1日
- 強行は不可[「建国記念日制定は是非か」]『東京新聞』2月6日
- わが著書を語る 小六法一昭和三十三年版一[我妻栄との共同執筆]『Books』83、1957. 3月5日
- 解散の是非をめぐって『読売新聞』3月10～12日[座談会：三木武夫、浅沼稻二郎]
- チャタレイ裁判の批判を読んで『東京新聞[夕刊]』3月24～26日
- [アンケート]『図書』91、4月10日
- チャタレイ裁判について『ジュリスト』129、5月1日[『平和と人権』収録]
- 新憲法の一〇年『ジュリスト』129、5月1日[座談会：我妻栄、鈴木武雄、田中二郎、兼子一、石井照久、団藤重光、佐藤達夫]
- 憲法の問題点 施行満十年を迎えて『毎日新聞』5月1～3日[座談会：片山哲、広瀬久忠]
- 世界観と政治観との相関関係『国家学会雑誌』71-6、6月1日[『法律学における学説』収録]
- 十年をかえりみて『ジュリスト』131、6月1日[『政治と憲法』収録]
- 自由の責任[「日本映画と倫理」]『キネマ旬報』180、7月1日
- 霊験いやちこ『研修』109、7月1日
- 法律および法律家に苦言を呈す『ジュリスト』136、8月15日[座談会：大内兵衛、中島健蔵、宗像誠也、日高六郎、佐藤達夫]
- 私はこう思う[「憲法調査会の発足をめぐって」]『世界』142、10月1日[「憲法調査会の発足をめぐって」と改題、『政治と憲法』収録。「内閣憲法調査会 vs. 憲法問題研究会 憲法調査会の発足をめぐって」と改題、『世界』憲法論文選』(岩波書店、2006年2月)収録]
- 自己の立場を持って 動向への監視が必要『立命館学園新聞』760、11月1日
- 府県制度改革案の検討—いわゆる「地方」案を中心として—『ジュリスト』143、12月1日[座談会：蟬山政道、田中二郎、辻清明、西島芳二、池松文雄]
- 年間回顧 1957年—制定法・判決・主要事件—『ジュリスト』144、12月15日[共同執筆]

### 1958(昭和33)年

- まず金のかからぬ選挙—社会国家の実現と金権腐敗の追放『朝日新聞』1月1日
- 憲法調査会『法律時報』30-1、1月1日[鼎談：中川善之助、佐藤功]
- 憲法の毛なみ『毎日新聞』1月1日
- チップ追放[「茶の間」]『毎日新聞[夕刊]』2月3日
- 制定経過よりも内容—「押つけ」論は当たらない『朝日新聞』2月20日
- 日本国憲法の基本原理『法学セミナー』24、3月1日
- 中共の文字改革と日本の法令『時の法令』273、3月13日
- 紀元節と憲法『自治研修』15、4月1日[『憲法と天皇』収録]
- 憲法改正論争の本質[「今月の言葉」]『教育技術』13-2、5月1日

特集のはじめに[「特集 各国憲法の動向」]『ジュリスト』153、5月1日  
憲法改正反対は当然『平和と民主主義』58、5月3日  
今の学生は進歩している－むかしの学生と比較して－『文芸春秋』36-6、6月1日  
憲法の運命[4月28日講演要旨、文責在記者]『公明選挙時報』158、6月5日  
公正な意見への協力 憲法問題研究会への批判について[「私の意見」]『毎日新聞』6月12日  
岸新内閣に望む 反対意見に耳傾けよ『読売新聞』6月13日  
ロオマ字印鑑事件の判決『ジュリスト』157、7月1日  
緑のハンケチ[「随想」]『緑会雑誌』[復刊]2、7月3日  
憲法問題をどう考えるべきか『婦人公論』43-8、8月1日[『平和と人権』収録]  
最近の世相と法律『ジュリスト』160、8月15日[座談会：大宅壮一、小津茂郎、神近市子、野村正男、  
三戸岡道夫]  
八月十五日に思う 忘れまい“自由の喜び”[「時評」]『読売新聞』8月15日  
美濃部・鳩山・末弘三先生を語る『書斎の窓』59、60、9月1日、10月1日[座談会：美濃部民子、鳩山  
千代子、末弘冬子、我妻栄]  
R・シュトラウスを偲んで『フィルハーモニー』30-8、9月1日[対談：近衛秀麿]  
自然法と最高裁判所『歴史教育』6-9、9月1日[『平和と人権』収録]  
探偵小説と映画と平和と人権[巻頭言]『ジュリスト』164、10月15日[『ジュリスト』634、1977年3  
月26日再録]  
危険な多数決の無理押し 国会の「正常な運営」について[「私の意見」]『毎日新聞』10月17日  
変則国会と政党の責任『読売新聞』11月12日  
警察官職務執行法の改正『ジュリスト』166、11月15日[座談会：石川吉右衛門、宍戸基男、渋谷亮、  
田中二郎、団藤重光、中川薫治、野木新一、宮崎清文]  
戦後における立法および法律学の変遷 続日本の法学『法律時報』30-12、12月1日[座談会：我妻栄、  
鶴飼信成、戒能通孝、木村亀二、田中二郎、辻清明、野村平爾、松田二郎、村上朝一]  
現下諸問題の反省と指針『ジュリスト』168、12月15日[座談会：我妻栄、鈴木武雄、田中二郎、兼  
子一、石井照久]

## 1959(昭和34)年

国会運営のあり方『ジュリスト』170、1月1日[『政治と憲法』収録]  
「公・私」の混同をやめよ－汚職を根絶するために－『産経新聞』1月4日  
フランスの第五共和制憲法について『外交季刊』4-1、1月25日[『憲法と政治制度』収録]  
いい世の中になった[「随筆」]『フィルハーモニー』31-2、3月1日  
社会教育法“改正”する必要はない『朝日新聞』3月3日  
ある議員の質問[「随筆」]『朝日ジャーナル』1-1、3月15日



- ピアノ合戦[「随想」]『音楽の友』17-5、5月1日
- 法学部の講義について 学生に望む『立教大学新聞』166、5月2日
- どこへ行ったか憲法記念日—五月三日を迎えて—『山陽新聞[夕刊]』5月3日
- 問題ごとに自主的に考えよ 憲法をめぐる二大政党的な対立[「私の意見」]『毎日新聞』5月3日
- 参議院のあり方[「時評」]『読売新聞』5月8日
- 国をあげて? [「憂楽帳」]『毎日新聞[夕刊]』6月2日
- 冷静な論争を [「憂楽帳」]『毎日新聞[夕刊]』6月9日
- ふしぎなこと [「憂楽帳」]『毎日新聞[夕刊]』6月16日
- 国際礼儀と民主的礼儀 [「憂楽帳」]『毎日新聞[夕刊]』6月23日
- 歩く人はなげく [「憂楽帳」]『毎日新聞[夕刊]』6月30日
- 契約に弱い[無署名巻頭言]『ジュリスト』181、7月1日 [『ジュリスト』634、1977年3月26日再録]、  
「うまれ」による差別[「憲法記念講演会から」]『世界』163、7月1日 [憲法問題研究会編『憲法を生かす  
もの』<岩波新書>(岩波書店、1961年)収録]
- 天皇制[「ゼミナール私たちの政治」]『婦人公論』44-9、7月1日 [座談会：丸山真男、日高六郎、永井道  
雄]
- トロヤの馬 [「憂楽帳」]『毎日新聞[夕刊]』7月7日
- ホトトギスの卵 [「憂楽帳」]『毎日新聞[夕刊]』7月14日
- 日米安保条約の改定『ジュリスト』182、7月15日 [座談会：芦部信喜、入江啓四郎、小林直樹、斉藤真、  
篠原一、新名丈夫、寺沢一]
- 有田さんの注文 [「憂楽帳」]『毎日新聞[夕刊]』7月21日
- 推理小説の功德 [「憂楽帳」]『毎日新聞[夕刊]』7月28日
- 憲法と国民生活—応募原稿を読んで—『世界』164、8月1日
- シャンパン物語 [「憂楽帳」]『毎日新聞[夕刊]』8月4日
- 職業の順位 [「憂楽帳」]『毎日新聞[夕刊]』8月11日
- 犯罪・推理・科学捜査『ジュリスト』184、8月15日 [座談会：飯島正、植草基一、上野正吉、大石宏、  
寺本亀義、羽島和男、山田誠]
- 松川裁判について [「憂楽帳」]『毎日新聞[夕刊]』8月18日
- 梅若流を吊う [「憂楽帳」]『毎日新聞[夕刊]』8月25日
- なぐりたおしきれない『群像』14-9、9月1日
- 松川事件最高裁判決をめぐって『ジュリスト』臨時増刊9月号、9月 [座談会：我妻栄、鈴木武雄、兼子  
一、平野龍一、加藤一郎]
- The constitution in trouble『Japan Quarterly』6-3(July-Sept.)、9月
- 新聞のモラルどうあるべきか『読売新聞』10月1日 [座談会：池田弥三郎、松岡洋子]
- 二大陣営の対立に憂い 一方だけの思想的丸抱えになるな [「世界の流れのなかで 政治」]『西日本新聞』

10月8日

文部省は手を引け 読書・選定と目録のすりかえ[「時評」]『読売新聞』10月9日

安保改定問題の究明『ジュリスト』188、10月15日[座談会：田中二郎、鶴飼信成、高野雄一、高橋道敏]

コレッジオと法律学全集と『書齋の窓』73、11月1日

政治的英知を持って[「憂慮すべき安保改定交渉」]『世界』167、11月1日[『平和と人権』収録]

流儀と家元『能楽思潮』10、11月1日

人生の曲がり角で『東京新聞[夕刊]』11月4、10、17、24日、12月1、8、15、22日【敷島の道のふしぎ、革命ごっこならず、文明開化と天皇教、老年期の生き方、俳「海」第三艦隊出動、巡歴騎士道の修業、エレガントな紳士、生きるということ】[『宮沢俊義随想集』収録]

明らかにされた安保問題の争点「安保研究会」と外相との質疑・回答を読んで『朝日ジャーナル』1-37、11月22日

今の段階では反対[「国会デモ禁止の立法化」]『東京新聞』11月30日

今年の歩みをかえりみて『婦人之友』53-12、12月1日[座談会：由起しげ子、森恭三、松岡洋子、池辺陽]

“戦力”に最終解釈 判決は安保の当否と無関係『朝日新聞』12月17日

世連運動はどうあるべきかー当面する諸問題をめぐってー『世連研究』1-1[春季号]、月日不明[座談会：嶺山政道、谷川徹三、高野雄一、湯川秀樹、鮎沢巖、下中弥三郎、田中正明]

## 1960(昭和35)年

大衆娯楽『法律時報』32-1、1月1日[鼎談：中川善之助、鶴飼信成]

現代日本の課題 狂信と正義について『毎日新聞』1月4日

私の読書法『図書』124、1月10日[「読書法というもの」と改題『私の読書法』(岩波書店、1960年)収録]

砂川事件最高裁判決をめぐって『ジュリスト』臨時増刊1月号[砂川事件上告審判決特集]、1月[座談会：我妻栄、横田喜三郎、鈴木武雄、田中二郎、兼子一、石井照久]

解散して国民の声を 安保条約の審議に望む[「時評」]『読売新聞』2月16日

議長大いに怒る『時の法令』343、2月23日

「世界憲法集」について『Books』118、2月5日

憲法尊重の義務『法学セミナー』48、3月1日

発刊のことば『立教法学』1、3月20日

正義について ケルゼンをめぐって『立教法学』1、3月20日[『法律学における学説』収録]

中国視察から帰って『毎日新聞』5月12日

創立一周年を迎えて『法学周辺』1、5月

議会主義を守るために[「民主政治の擁護を訴う」]『朝日ジャーナル』2-26、6月26日[『政治と憲法』収

録]

岸政権から遠い人 次の首班はどうあるべきか『朝日新聞』6月28日

中国視察から帰って『学会月報』673、7月1日

議会主義をどうやって守るか[「国民は承服しない」]『世界』175、7月1日[『政治と憲法』収録]

五・一九から六・二三まで 新安保をめぐる混乱をどうみるか『ジュリスト』206、7月15日[座談会：  
池松文雄、伊藤正巳、井上茂、小林直樹、西島芳二、橋本公旦、和田英夫]

「事件」の結末が示すもの『世界』176、8月1日[『政治と憲法』収録]

議会主義を守るために[「民主政治を守る講演会」]『世界』176、8月1日[『政治と憲法』収録]

最高裁の三つの公安条例判決『ジュリスト』208、8月15日

二つに割れた政治の中で『法律時報』32-11、9月1日[座談会：伊藤正巳、田上穰治、野田良之、福田  
歓一、家永三郎]

中国の文字改革を見て『時の法令』362、9月3日

[「政党及び候補者へ望む」]『選挙』13-10、10月1日

宮沢俊義氏を困んで[「選挙・こんどこそ」]『朝日新聞』10月31日、11月1日[座談会：石井清二、加藤  
日出男、五十嵐省悟、河口登志子]

総選挙を迎えて―拒否された解散―『世界』179、11月1日[『政治と憲法』収録]

## 1961(昭和36)年

憲法[「特集・法律学十五年の回顧と展望」]『ジュリスト』217、1月1日[共同執筆：小林直樹・池田政  
章]

これからの法律学『ジュリスト』217、1月1日[座談会：我妻栄、鈴木武雄、田中二郎、兼子一、石井  
照久、団藤重光]

憲法のヤミについて『判例時報』244、1月1日

アナトール・フランス『エピキュールの庭』[「一冊の本」]『朝日新聞』1月8日[朝日新聞社学芸部編『一  
冊の本』(雪華社、1963年)、『一冊の本 全』(雪華社、1967年)、改装新版『一冊の本 全』(雪華社、  
1972年)、『宮沢俊義随筆集』収録]

人種差別とデモクラシー[「色盲のすすめ」]『東京新聞[夕刊]』1月12日

あきれた内閣委員会質問[「色盲のすすめ」]『東京新聞[夕刊]』1月13日

民主主義を愛す 福田氏の「五箇条の注文」を読んで『毎日新聞』1月18日

マイクはなれて『放送文化』16-2、2月1日[対談：小林利光]

還暦の贈りものをいただいて『書齋の窓』89、3月1日

公共用地の取得問題『朝日新聞』3月22日

警察の責任[「言論の自由と民主主義」]『世界』184、4月1日[『政治と憲法』収録]

評論家犬養道子さん 満身これ個性[「素顔」]『朝日ジャーナル』3-18、4月30日

ピストル不法所持『文芸春秋』39-5、5月1日

議会政治をまもる道 どちらも正しいことはあり得ない『毎日新聞』5月17日

説得力ある警世の書 大内兵衛『日本の曲り角』[「本 批評と紹介」]『朝日ジャーナル』3-23、6月4日

「自衛官の心がまえ」を読んで一特に必要ないはずの“作文”『朝日新聞』6月28日

山崎伯爵と法服『法学周辺』3、6月

憲法学よもやま話 “昔の憲法学・今の憲法学”『法学教室[別冊ジュリスト]』1、7月1日[座談会：佐藤功、伊藤正巳。『憲法をどう学ぶか』(有斐閣、1984年)収録]

戦前の憲法・戦後の憲法[5月9日講演記録於岩波文化講演会]『図書』143、7月10日

“雑音”から独立させよ むずかしい事実認定の批判[「松川判決 私はこう考える」]『朝日新聞』8月9日

裁判というものー松川事件を聞いてー『書齋の窓』94、9月1日

治安立法の動向『ジュリスト』235、10月1日[座談会：田中二郎、兼子一、高辻正巳、宍戸基男]

二つのドイツ二つのベルリン『毎日新聞』10月3日

議会制の生理と病理『公法研究』23、10月15日[『憲法と政治制度』、『国民主権と天皇制』<文献選集 日本国憲法2>(三省堂、1977年)収録収録]

許せぬ税関の映画検閲 憲法も、はっきり禁じている[「想林」]『朝日新聞[夕刊]』11月8日

憲法は“検閲”を禁止している 税関審査の本質について『キネマ旬報』298、11月15日

西ドイツ視察報告座談会『選挙』14-12、12月1日[座談会：青木森三郎、土屋正三、戸田常蔵、青木正、西村重三郎、島上善五郎、桜沢東兵衛、小林与三次]

今年のNHK放送にひろう『放送文化』16-12、12月[座談会：筒井敬介、小池一郎、山崎誠]

## 1962(昭和37)年

憲法改正問題と憲法調査会の活動『ジュリスト』241、1月1日[座談会：高柳賢三、我妻栄、石井照久、団藤重光、佐藤功]

「外人」と日本人『フィルハーモニー』34-1、1月1日[『宮沢俊義随筆集』収録]

野球と裁判『時の法令』410、1月3日

「憲法の年」に思う『毎日新聞』1月3日

確信という名の犯信[無署名巻頭言]『ジュリスト』242、1月15日[『ジュリスト』634、1977年3月26日再録]

選挙制度審議会の答申と連座制『自治研究』38-2、2月10日[『政治と憲法』収録]

国家試験について『ジュリスト』249、5月1日[座談会：我妻栄、鈴木武雄、田中二郎、団藤重光]

国民の憲法感覚『朝日新聞』5月3日

マスコミと人権『法の支配』6、5月31日

神々の共存『世界』198、6月1日[憲法問題研究会編『憲法と私たち』<岩波新書>(岩波書店、1963年)、『憲法講話』収録]

電信柱[「茶の間」]『毎日新聞[夕刊]』7月4日[『宮沢俊義随筆集』収録]

日本憲法と世界平和[「科学者京都会議の記録」]『世界』200、8月1日[『平和と人権』収録]  
 表現の自由をめぐる[「憲法講話1」]『世界』201、9月1日[『憲法講話』収録]  
 大学の自治・事件と人『朝日ジャーナル』4・36～44、9月9、16、23、30日、10月7、14、21、28日、11月4日[座談会：田中耕太郎、末川博、我妻栄、大内兵衛。朝日ジャーナル編集部編『大学の自治』(朝日新聞社、1963年)刊]  
 憲法学の先達『朝日新聞』9月11～15日【いい古い時代、笈・野村先生、上杉先生、美濃部先生の受難、美濃部先生の学風】  
 大学の運営と自由『毎日新聞』9月22日  
 国家と宗教[「憲法講話2」]『世界』202、10月1日[『憲法講話』収録]  
 憲法の基本原理『白門』14・10、10月1日  
 学問の自由と大学の自治[「憲法講話3」]『世界』203、11月1日[『憲法講話』収録]  
 法の下での平等[「憲法講話4」]『世界』204、12月1日[『憲法講話』、『平等権』<文献選集日本国憲法5>(三省堂、1977年)収録]

### 1963(昭和38)年

君主制と民主主義『心』16・1、1月1日[座談会：田中耕太郎、武者小路実篤、竹山道雄、安倍能成]  
 人権と生存権[「憲法講話5」]『世界』205、1月1日[『憲法講話』収録]  
 フランスにおける大統領制の効用[Maurice Duverger, *La Vie Republique et le regime presidential*, 1961の抄訳]『立教法学』5、1月30日[冊子として『フランスにおける大統領制の効用』(憲法調査会事務局、1963年)刊。『憲法と政治制度』収録]  
 会社の政治献金『ジュリスト』274、5月15日[座談会：鈴木武雄、石井照久、矢沢惇、吉田昴]  
 中国から帰って[「訪中学術代表団(1960年)報告：中国の文字改革」]『中国語』44、5月20日  
 ポロ事件最高裁判決をめぐる『ジュリスト』277、7月1日[座談会：我妻栄、鈴木武雄、田中二郎、兼子一、団藤重光、平野龍一、雄川一郎、矢沢惇、石川吉右衛門]  
 裁判の役割と限界―松川事件をかえりみて『世界』215、11月1日[『平和と人権』収録]  
 栄典制度について『ジュリスト』288、12月15日[鼎談：岩倉規夫、山内一夫]

### 1964(昭和39)年

憲法調査会の功罪『ジュリスト』289、1月1日[座談会：蟬山政道、高柳賢三、神川彦松、高田元三郎、清宮四郎][『憲法改正論』<文献選集日本国憲法13>(三省堂、1977年)収録]  
 寛容と憲法論争「不倶戴天」の追放[「学芸」]『毎日新聞[夕刊]』1月6日[寛容と憲法論争「人間の尊厳は侵してならない」―西独の憲法から[「学芸」]』[『大阪毎日新聞[夕刊]』1月6日]  
 バベリズム―言葉が通じないのは不便であること―『朝日新聞』3月17日[『宮沢俊義随筆集』収録]  
 法学を学ぶ人々のために『新刊展望』別冊<大学生とビジネスマンとのレクチャー・ガイド 法律・経済・商学書の特選目録>、4月  
 憲法改正についての考え方[「憲法問題研究会・憲法記念講演会から」]『世界』222、6月1日[『政治と

憲法』、臼井吉見編『現代の教養 第16』(筑摩書房、1968年)収録]

法と暴力『時の法令』500、6月13日

学説というもの『ジュリスト』300、6月15日[『法律学における学説』収録]

ウエイマール憲法の思い出『ジュリスト』300、6月15日

差別『法学周辺』8、6月

逆戻りの改正を心配 護憲の立場から[「憲法調査会報告書の内容」]『朝日新聞』7月4日

民主主義の評価をめぐって『潮』51、9月1日[座談会：蟬山政道、杉捷夫、長洲一二]

地方自治の本旨について『自治研究』40-10、10月10日[『公法の原理』収録]

すばらしい説得力 我妻栄氏[「文化勲章の人々」]『朝日新聞』10月30日

行政改革の方向と問題点－臨時行政調査会の答申－『ジュリスト』310、11月15日[座談会：久世公堯、高橋雄豺、林修三、西島芳二、福良俊之、雄川一郎]

### 1965(昭和40)年

憲法は政治の子[「先進後進」]『朝日ジャーナル』7-4、1月24日[対談：小林直樹]

選挙制度をどう改めるか－ひとつの提案－『世界』230、2月1日[『憲法と政治制度』収録]

悪法と裁判『立教法学』7、2月28日[『法律学における学説』収録]

「統帥権」の名のもとに…－ファシズムの土壌－[「昭和史の瞬間」]『朝日ジャーナル』7-13、3月28日[座談会：広津和郎、大宅壮一]

憲法問題研究会と私『図書』189、5月1日[『政治と憲法』収録]

大新聞社の経営問題－朝日新聞社事件－『ジュリスト』323、6月1日[座談会：石井照久、伊藤正巳、鈴木竹雄、千葉雄次郎、我妻栄]

憲法の過去・現在・未来『現代の理論』2-7、7月1日[対談：藤田省三][『藤田省三対話集成 1』(みすず書房、2006年)収録]

人間の価値『朝日新聞』8月22、25～29、31日、9月1～3日【地球と人類、人類絶滅の可能性、あの世、生きものの命、人間と動物、個人の尊重、命と命の衝突、人間主義の課題、ライシテ、神々の共存】[『宮沢俊義随筆集』収録]

老若問答 大河内俊輝著『昭和の能』について『宝生』14-9、9月15日

昔の学生・今の学生『法学周辺』10、9月[座談会：神島二郎、菊井維大、石崎政一郎、末延三次、四宮和夫、尾形典男]

立法のあり方『ジュリスト』331、10月1日[8月20日座談会：加藤一郎、蟬山政道、我妻栄、雄川一郎、平野竜一]

プロ野球の前ガン症状を手術する[「やア、こんにちわ」]『週刊読売』24-43、10月10日[対談：近藤日出造]

学問の自由というもの[無署名巻頭言]『ジュリスト』334、11月15日[『ジュリスト』634、1977年3月26日再録]

佐々木惣一先生『書齋の窓』138、12月1日

1966(昭和 41)年

- 経済の問題[「ジュリストの目」]『ジュリスト』337、1月1日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄]
- 英語帝国主義『世界』242、1月1日
- 社会生活関係[「ジュリストの目」]『ジュリスト』338、1月15日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄]
- 政治・行政[「ジュリストの目」]『ジュリスト』339、2月1日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄]
- 文化・教育[「ジュリストの目」]『ジュリスト』340、2月15日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄]
- 故佐々木惣一会員追悼の辞[「集報」]『日本学士院紀要』24-1、3月12日
- 社会の問題[「ジュリストの目」]『ジュリスト』343～345、4月1、15日、5月1日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄]
- 文化・教育[「ジュリストの目」]『ジュリスト』346、5月15日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄]
- 尾高朝雄君の逝去一〇年を迎えて『ジュリスト』346、5月15日
- フランスにおける憲法学と政治学『立法学』8、5月15日[『公法の原理』収録]
- 経済の問題[「ジュリストの目」]『ジュリスト』349、7月1日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄、石川吉右衛門]
- 労働の問題[「ジュリストの目」]『ジュリスト』350、7月15日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄、石川吉右衛門]
- 少年法改正問題[「ジュリストの目」]『ジュリスト』351、8月1日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄、団藤重光]
- 刑法改正問題、交通チケット制[「ジュリストの目」]『ジュリスト』352、8月15日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄、団藤重光]
- 放送法・電波法の改正[「ジュリストの目」]『ジュリスト』353、9月1日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄、塩野宏]
- 東京の京都会議[「第三回科学者京都会議に参加して」]『世界』250、9月1日[『平和と人権』収録]
- ベトナム戦争に関し重ねて日本政府に要望する[連名：大内兵衛・大仏二郎・谷川徹三・我妻栄]『世界』250、9月1日
- にせ婚姻届事件 救急病院[「ジュリストの目」]『ジュリスト』354、9月15日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄、唄孝一]
- 江川英文君『ジュリスト』355、10月1日
- 政治・行政[「ジュリストの目」]『ジュリスト』355、356、10月1、15日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄、辻清明]
- 当事者の熱意に感謝[「ドジャース訪日もり上がる期待」]『読売新聞』10月4日
- 明治憲法から新憲法へ『エコノミスト』44-44～52、10月25日、11月1、8、15、22、29日、12月6、13、20日[小林直樹との対談。『昭和思想史への証言』（毎日新聞社編・刊、1968年）収録]
- 私学振興策[「ジュリストの目」]『ジュリスト』357、11月1日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄]
- 公害の問題[「ジュリストの目」]『ジュリスト』358、11月15日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄、加藤一郎]
- 国民主権と天皇制『世界』253、12月1日[『憲法講話』収録]

## 1967(昭和 42)年

- 政治肅正と選挙制度 政治が本来の姿を取戻すために『朝日ジャーナル』9-1、1月1日[座談会：長谷部忠、柏村信雄、藤枝泉介]
- 参政権と選挙『世界』254、1月1日[『憲法講話』収録]
- 著作権法の改正[「ジュリストの目」]『ジュリスト』362、363、1月15日、2月1日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄、布川角左衛門]
- 江川英文君『法学周辺』12、1月
- 議会・政党・内閣『世界』255、2月1日[『憲法講話』収録]
- 法学部学年延長問題[「ジュリストの目」]『ジュリスト』364、2月15日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄、久保正幡、平野龍一、星野英一]
- 政治資金の規正[「ジュリストの目」]『ジュリスト』365、3月1日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄、芦部信喜、大浜英子]
- 裁判の役割『世界』256、3月1日[『憲法講話』収録]
- 選挙の管理・運営[「ジュリストの目」]『ジュリスト』366、3月15日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄、芦部信喜、大浜英子]
- 資本自由化の意味するもの[「ジュリストの目」]『ジュリスト』367、4月1日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄、武山康雄、金沢良雄]
- 軍の死と復活『世界』257、4月1日[『憲法講話』収録]
- みのべ候補 行動力ある経済学者[「私は推薦する 都知事選」]『朝日新聞[夕刊]』4月14日
- 資本自由化への対策[「ジュリストの目」]『ジュリスト』368、4月15日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄、鈴木竹雄、武山康雄、金沢良雄]
- 清潔な都政を[「都政への期待と注文」]『世界』258、5月1日
- 医療制度[「ジュリストの目」]『ジュリスト』370、5月15日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄、今井一男]
- 恵庭判決について『ジュリスト』370、5月15日[『憲法と裁判』、『戦争の放棄』<文献選集日本国憲法3>(三省堂、1977年)収録]
- 日本人と合理主義『潮』84、6月1日[座談会：横田喜三郎、石田英一郎、上山春平、萩原延寿]
- 東大宇宙研問題[「ジュリストの目」]『ジュリスト』371、6月1日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄、福良俊之]
- 科学の価値[「憲法二十年—私の評価」]『世界』259、6月1日[『新しい憲法のはなし 付載七篇』収録]
- 文化・教育[「ジュリストの目」]『ジュリスト』372、6月15日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄、福良俊之]
- 失業保険法の改正[「ジュリストの目」]『ジュリスト』374、7月1日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄、有沢広巳]
- 差別する自由『図書』215、7月1日
- 最低賃金制度の改正[「ジュリストの目」]『ジュリスト』375、7月15日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄、有沢広巳]
- 日本国憲法を評価する『現代の眼』8-8、8月1日[対談：有倉遼吉]



- 独禁法二〇年[「ジュリストの目」]『ジュリスト』376、8月1日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄、北島武雄、有賀美智子]
- 公安条例をめぐって[「ジュリストの目」]『ジュリスト』377、8月15日[座談会：我妻栄、鶴飼信成、雄川一郎]
- 税関検閲をめぐって[「ジュリストの目」]『ジュリスト』378、9月1日[座談会：我妻栄、鶴飼信成、雄川一郎]
- 刑法改正の問題[「ジュリストの目」]『ジュリスト』379、9月15日[座談会：我妻栄、団藤重光、松田智雄]
- 米陸軍資金援助問題[「ジュリストの目」]『ジュリスト』380、10月1日[座談会：我妻栄、団藤重光、松田智雄]
- 法律学の辞典とわたし『書齋の窓』157、10月1日
- 百科事典よもやま話『週刊読書人』694、10月2日[座談会：福原麟太郎、戸板康二]
- 大学院の設置基準[「ジュリストの目」]『ジュリスト』382、10月15日[座談会：我妻栄、団藤重光、松田智雄]
- 領土問題をめぐって[「ジュリストの目」]『ジュリスト』383、384、11月1、15日[座談会：我妻栄、鈴木竹雄、大浜信泉、高野雄一]
- 有斐閣と美濃部先生『書齋の窓』158、11月1日
- 最高裁二〇年の歩みと三代長官の抱負[「ジュリストの目」]『ジュリスト』385、387、12月1、15日[座談会：田中耕太郎、横田喜三郎、横田正俊]
- 天皇機関説事件 史料は語る『ジュリスト』385、387～397、399、401～413、415～419、12月1、15日、**1968年**1月1、15日、2月1、15日、3月1、15日、4月1、15日、5月1、15日、6月1日、7月1、15日、8月1、15日、9月1、15日、10月1、15日、11月1、15日、12月1、15日、**1969年**1月1、15日、2月1、15日、3月1、15日[『天皇機関説事件 史料は語る。』(有斐閣、1970年)刊]

## 1968(昭和43)年

- 財政の問題[「ジュリストの目」]『ジュリスト』388、389、1月1、15日[座談会：東畑清一、鈴木竹雄]
- 思い出のシュルスヌス[「一枚のレコード」]『朝日新聞』1月7日
- 宇宙開発の一元化[「ジュリストの目」]『ジュリスト』392、3月1日[座談会：茅誠司、我妻栄、鈴木竹雄]
- 素粒子研計画の問題[「ジュリストの目」]『ジュリスト』393、3月15日[座談会：茅誠司、我妻栄、鈴木竹雄]
- 非核武装に関する国会議員各位への要望『世界』269、4月1日[大内兵衛、谷川徹三、湯川秀樹、朝永振一郎ほか53名による声名]
- ポンド切り下げとドル防衛問題[「ジュリストの目」]『ジュリスト』394、395、4月1、15日[座談会：中山伊知郎、我妻栄、鈴木竹雄]
- 医師法の一部改正[「ジュリストの目」]『ジュリスト』396、5月1日[座談会：榊原任、豊川行平、我妻栄、鈴木竹雄]
- 心臓移植をめぐる問題[「ジュリストの目」]『ジュリスト』397、5月15日[座談会：榊原任、唄孝一、我

妻栄、鈴木竹雄]

ライシテ(laicite)の成立—フランス憲法史における—『立教法学』10、6月30日[『憲法論集』収録]

近代日本の思想家群像—『近代日本思想史大系』の刊行によせて—『書齋の窓』165、167、7月1日、8月1日[座談会：橋川文三、松本三之介、生松敬三、住谷一彦]

神経質な新聞『文芸春秋』46-7、7月1日

「幸福の追及」について[第16回全国婦人会議開会式における記念講演]『婦人と年少者』158、7月25日

最近の労働問題—春闘を中心に—[「ジュリストの目」]『ジュリスト』403、8月1日[座談会：兼子一、石井照久、我妻栄、鈴木竹雄]

教員の超過勤務手当[「ジュリストの目」]『ジュリスト』404、8月15日[座談会：兼子一、石井照久、我妻栄、鈴木竹雄]

日米の野球を高く評価[談]『読売新聞』8月17日

大学総長 その人間の研究『新評』15-9、9月1日[対談：中島健蔵]

## 1969(昭和44)年

「法学者」のなやみ『時の法令』664・665、1月3日

はじめて洋書に接した頃『学鏡』66-1、1月5日[『宮沢俊義随筆集』収録]

東大の灯は消える『潮』107、2月1日[対談：堀米庸三]

日本の放送=その断面(27) 選挙と放送の20年[座談会：堀四志男、井口虎一郎、島浦精二(司会)]『放送文化』24-3、3月1日[『放送夜話 座談会による放送史続』(日本放送協会、1970年)収録]

機関説事件に関する座談速記について『ジュリスト』420、4月1日

座談会 天皇機関説事件をめぐって[「天皇機関説事件—史料は語る—」]『ジュリスト』420、4月1日[1950年7月4日座談会：松本烝治、林茂、美濃部多美子、鳩山一郎、河村又介、江草四郎、金森徳次郎。『天皇機関説事件 史料は語る。』下(有斐閣、1970年)収録]

座談会 天皇機関説事件をめぐって[「天皇機関説事件—史料は語る—」]『ジュリスト』421、4月15日[1950年10月20日座談会：小原直、迫水久常、林茂、美濃部亮吉、美濃部多美子。『天皇機関説事件 史料は語る。』下(有斐閣、1970年)収録]

座談会 天皇機関説事件をめぐって[「天皇機関説事件—史料は語る—」]『ジュリスト』422、5月1日[1950年11月9日座談会：後藤文夫、田中二郎、緒方竹虎、美濃部亮吉、林茂。『天皇機関説事件 史料は語る。』下(有斐閣、1970年)収録]

座談会 天皇機関説事件をめぐって[「天皇機関説事件—史料は語る—」]『ジュリスト』423、5月15日[1951年2月1日座談会：唐沢俊樹、戸沢重雄、白根竹介、林茂、中村敬之進。『天皇機関説事件 史料は語る。』下(有斐閣、1970年)収録]

「元首と機関」を読んで 柳瀬教授へのおわび『ジュリスト』423、5月15日

蒼古の色彩『能楽思潮』52、5月31日[『宮沢俊義随筆集』収録]

大学問題[「ジュリストの目」]『ジュリスト』426~428、6月15日、7月1、15日[我妻栄、大内兵衛、蟬山政道、鈴木竹雄、脇村義太郎、吉田富三]

人権の共存[法曹協会第一回定時総会記念講演速記]『法と人権』1、6月30日[『人権通信』22、12月1日に転載。『憲法論集』収録]

欠陥車問題をめぐって[「ジュリストの目」]『ジュリスト』432、434、9月1、15日[座談会：樋口健治、藤木英雄、森島昭夫、我妻栄、鈴木竹雄]

当然の結論[平賀書簡問題]『朝日新聞』9月15日

宇宙・地球・日本[「ジュリストの目」]『ジュリスト』435、436、10月1、15日[座談会：谷川徹三、我妻栄、鈴木竹雄]

宮沢俊義コミッショナー委員長の話[談]『朝日新聞』10月8日

プロ野球の死活問題[談]『読売新聞[夕刊]』10月8日

宮沢俊義映倫管理委員「黒い雪」問題を語る[インタビュー]『キネマ旬報』509、11月25日

人権の共存『人権通信』4-6、12月1日

モンテスキューの「法の精神」—小泉信三記念講座講演—『三田評論』688、12月1日

## 1970(昭和45)年

機関説事件の周辺[「随想」]『ジュリスト』441～448、447、448、451、1月1、15日、2月1、15日、3月1、15日、4月1、15日、6月1日[『憲法論集』収録]

きびしく姿勢正す プロ球界の決意『読売新聞』1月1日

食品公害[「ジュリストの目」]『ジュリスト』442、443、1月15日、2月1日[座談会：金井克己、水野肇、我妻栄、鈴木竹雄]

東京都の問題[「ジュリストの目」]『ジュリスト』445、456、3月1、15日[座談会：美濃部亮吉、我妻栄、鈴木竹雄]

野球で学んだ処世術『潮』124、4月1日

田中耕太郎先生をお招きして[「ジュリストの目」]『ジュリスト』447、448、4月1、15日[座談会：田中耕太郎、我妻栄、鈴木竹雄]

言論の自由と人間の価値—基本的人権の運用に果して陥穽はないか『潮』125、5月1日[鼎談：田中美知太郎、伊藤正己]

国際公害シンポジウムをめぐって[「ジュリストの目」]『ジュリスト』450、451、5月15日、6月1日[座談会：都留重人、我妻栄、鈴木竹雄]

物価問題[「ジュリストの目」]『ジュリスト』453、455、7月1、15日[座談会：中山伊知郎、我妻栄、鈴木竹雄]

憲法第九条と自衛権『別冊潮』18、7月15日[対談：横田喜三郎]

たたかう民主主義者『潮』128、8月1日[『憲法論集』収録]

天皇機関説事件をめぐって『書斎の窓』190、191、8月1日、9月1日[4月9日対談：林茂、聞き手：新川正美]

たたかう民主主義者[追悼講演要旨]『日本バートランド・ラッセル協会会報』16、8月20日

教育・教科書を考える[「ジュリストの目」]『ジュリスト』461、9月5日[座談会：我妻栄、蟬山政道、

小林直樹]

宗像学説とわたし[「宗像誠也その人と業績—平和・学問・教育」]『国民教育』6、11月10日

外国の大学[「ジュリストの目」]『ジュリスト』468、12月15日[座談会：加藤一郎、我妻栄、鈴木竹雄]

### 1971(昭和46)年

公害にどう取り組むか[「ジュリストの目」]『ジュリスト』471、2月1日[座談会：金沢良雄、加藤一郎、我妻栄、鈴木竹雄]

ジュリオ・ド・ラ・モランディエール学長の思い出『日仏文化』26、3月30日

“疑惑の野球”は再び起こる『潮』140、6月1日

思想・信条の自由[特集 思想・信条による差別]『ジュリスト』480、6月1日[鼎談：佐藤功、小林直樹]

教授の自己規律について『ジュリスト』488、9月15日

岩崎先生『英語青年』117-7、10月1日

### 1972(昭和47)年

畠山一清さんと貴宝会『宝生』21-2、2月15日

玉菊会始末『宝生』21-12、12月15日

\*日本の進路を探る(新春随想)『税大通信』65、月日未詳

### 1973(昭和48)年

日本国憲法おしつけ論について『ジュリスト』528、3月15日[『憲法論集』収録]

元号と憲法『ジュリスト』532、5月15日[『憲法論集』、鈴木武樹編『元号を考える』(現代評論社、1977年)収録]

武装外交『ジュリスト』542、9月1日[『憲法論集』収録]

天皇と憲法『ジュリスト』542、9月1日[座談会：佐藤功、藤樫準二、林修三]

憲法解釈で合憲は無理[「判決を聞いて」]『朝日新聞』9月7日

美濃部達吉先生を偲んで『書齋の窓』225、226、11月1日、12月1日[座談会：鵜飼信成、宇賀田順三、川村又助、清宮四郎、杉村章三郎、田上穰治、田中二郎、柳瀬良幹]

賽は投げられた 長沼事件第1審判決[「特集 長沼違憲判決」]『ジュリスト』549、12月1日[『憲法論集』、『戦争の放棄』<文献選集日本国憲法3>(三省堂、1977年)収録]

我妻君ゆく[「追悼我妻栄氏」]『世界』337、12月1日

### 1974(昭和49)年

三菱樹脂事件について[「特集 三菱樹脂最高裁判決」]『ジュリスト』553、2月1日[『憲法論集』収録]

不屈の精神の人 田中耕太郎氏を悼む[談]『朝日新聞』3月2日

法制審議会と刑法改正について『ジュリスト』557、4月1日[『憲法論集』収録]  
テニスの仲間[「交遊抄」]『日本経済新聞』4月10日[『宮沢俊義随筆集』収録]  
我妻君を思う[「追悼随想 民法一筋と花模様」]『ジュリスト』563、6月21日  
国民の私生活に介入してくる感じ…刑法改正案[「ぐうたら先生・冒険・熱血・激烈対談」]『週刊読売』33-29、  
7月6日[対談：遠藤周作]  
刑法改正よもやま談義『潮』182、8月1日  
憲法の科学と実践 自衛隊の憲法適合性をめぐって『ジュリスト』576、12月1日[『憲法論集』収録]

### 1975(昭和 50)年

名誉白人『潮』187、1月1日  
コンセンサスで作られる合法性? 『[第2期]法学教室』8、7月10日[『憲法論集』収録]  
国会で論議、法で決めよ[「特集 揺れる元号制 私はこう思う」]『朝日ジャーナル』17-42、9月26日

### 1976(昭和 51)年

公の神さま『ジュリスト』603、1月1日[『憲法論集』収録]  
“自由のもたらす恵沢” [「私の8月15日」]『法学セミナー』257、8月1日

### 1977(昭和 52)年

長野の思い出[遺稿]『ジュリスト』634、3月26日  
ヨーロッパ留学日記『書斎の窓』267、268、270、272、273、275、276、9月1日、10月1日、1978年1  
月1日、3月1日、4月1日、7月1日、8月1日